

医師臨床研修プログラム

令和4年度

北海道大学病院

ご挨拶

北海道大学病院
病院長 秋田弘俊

北海道大学病院長の秋田弘俊です。まず、資格を持った医師としての本格的な第一歩の場としてこの北海道大学病院を検討していただいていることに感謝し、心から御礼申し上げます。また、同時に、研修責任者の一人として、大きな責任を感じております。

医師研修は、確かな実技を習得し、その基盤となる医学の総合力を臨床で実際の患者さんの診察・診療が可能なレベルにまで高めることが第一の目標です。これは、継続的な生涯学習で達成されることですが、最初の数年間で形成される基礎は、その医師の将来に大きく影響するものです。私自身、卒業直後の数年間で診た患者さん、教えを戴いた先生方、医療の本当の姿を教えてくれた医療関係者の皆さんのことを今でも鮮明に覚えており、その後の長い医師としての姿勢や生き方を決定づけました。

有名なローレンツの複雑系の考えでも、初期条件の微細な差が、その後の結果に大きな決定的な差を生みだすことが知られています。医療・医学は典型的な複雑系の科学ですが、皆さんの医師としての研修・成長も典型的な複雑系です。多様な診療科での実技研修、あるいは、医療人・社会人としての人間形成、Mentor、同僚との出会い。こうした初期研修は、皆さん方の将来に決定的な影響を及ぼします。

北大病院の研修プログラムは、毎年、進化しています。それは、社会や他学と表面的に足並みを合わせるのではなく、北大の提供できる優れた環境を最大限に利用し、また、研修される先生方の個々の進路や希望に沿うように tailor-made に限りなく近いものに進化しております。言い換えると、常に改善すべき点を抱えております。皆さん方には、遠慮なく、私達に、研修をより良いものするための御意見をお寄せ下さい。また、様々な選択肢の中から、大学病院を選択することの重み、あるいは、その意義を是非、体感して戴きたいと思っております。私達もその期待に応えるように、一般病院とは一味違った研修を提供できると思っております。

本院は、北海道大学という国内有数の教育・研究機関の主要な一員です。本院は、臨床研究中核病院、がんゲノム医療中核拠点病院、小児がん拠点病院、造血幹細胞移植推進拠点病院などに指定されています。そこに求められるものは、丁寧な日常診療に加えて、①高度医療の提供と新治療法の開発 ②難病治療などの最後の砦としての機能など、地域や社会、あるいは、国・世界からの高い期待に応えること、そして、将来の医療を支える“人”を育成する役割です。

是非、皆さん方には、初期研修の段階から、日々の実学研修は当然のことながら、北海道大学の建学の精神である、高い志を持ち、大成への第一歩をこの北海道大学病院での研修からスタートさせて戴きたいと願っております。

北大病院が、皆さん方の医師人生の最良のスタート地点となることを確信しております。

プロフェッショナルを目指すためには何が必要か ～臨床研修から始まる成功への道～

北海道大学病院
臨床研修センター長 平野 聡

これから臨床研修に臨もうとしている皆さんの目指すゴールは何でしょうか。単に臨床研修の修了という小さなものではないはずです。引き続き次のステップである専攻医としての修練があり、専門性を身につけるといよいよプロフェッショナルな医師としての活躍が始まります。臨床研修のスタートにあたり、自らの数年から十数年先の成長した姿を想像しながら臨床研修について考えることが大切です。

では、皆さんの最終ゴールであるプロフェッショナルな医師について考えてみます。多くの学生さんは研修施設の決定に、いわゆる common disease の数を気にします。しかし、この common disease は誰もが生涯、イヤと言うほど経験し、その診断法や治療法がほぼ確立されているもので、数学に例えると X に数字を入れると Y という正解がでる基本問題です。もし、2年間にわたり、この common disease をできるだけ経験すれば良いと考えるなら、それは大変もったいない時間の過ごし方と言えます。なぜなら、実際には教科書に載っている数え切れないほどある疾患を2年間で経験することはできないのは当たり前で、人生で何度も、未経験の疾患や病態に遭遇します。そんなとき、決して慌てず、適切に対処できるのがプロフェッショナルなのです。皆さんも受験勉強で十分経験していると思いますが、基本問題を何度繰り返しても、いわゆる応用問題で正解を出すトレーニングにはなりません。必要なのは、たとえ初めての経験（問題）でも方向性を間違えず、なんとか正解に近づくためのプロセスを実行できる「考える力」なのです。臨床研修の2年間のうち、一部は common disease で基本問題に取り組む事は必要ですが、残りの期間を「考える力」を養うことに集中するのが真のプロフェッショナルへの確実な道のりです。時期としても広い視野をもち、様々な診療領域の経験を積むことができる臨床研修期間こそが、「考える力」を身につけるための最適な時間になります。

皆さんが施設選びでどうしても気になる要素のもう一つは「技術の習得」でしょう。やはりこれも経験回数が多いほど、習得度が高いと考えがちです。確かに一定回数以上の経験は必要ではありますが、単に回数をこなすだけでは「難しい」例に遭遇したときにはお手上げ状態になります。そこで必要なのは、やはり「応用力」であり、どのようにしたら上手くいくのかを「考える力」が必要なことは、上述の疾患数の理論と全く同じです。理解しやすいと思います。

北海道大学病院が提供する初期臨床研修プログラムでは、協力病院との“たすきがけ”を利用して「基礎」と「応用」をバランス良く研修することができます。また、将来、海外での活躍を目指す研修医のための特別コースなど、多くの選択肢を用意しています。皆さんが将来のあるべき姿を見据えた時、「考える力」＝「応用力」を養うことができる当院プログラムはまさに絶好の場所と言えます。是非、私たちと共に「プロフェッショナル」を目指して有意義な2年間で過ごしましょう。

目 次

・ご挨拶	北海道大学病院長 秋田 弘 俊
・プロフェッショナルを目指すためには何が必要か～臨床研修から始まる成功への道～	北海道大学病院臨床研修センター長 平野 聡
北海道大学病院の概要	1
北海道大学病院医師臨床研修プログラムの概要	3
各科の概要・指導者	9
募集定員ならびに募集及び採用の方法	42
研修協力病院	44
臨床研修施設	45
修了要件・到達目標	52
北海道大学病院医師臨床研修管理委員会内規	81
北海道大学病院医師臨床研修専門委員会要項	84
北海道大学病院臨床研修センター内規	86
臨床研修センター配置図	89

北海道大学病院の概要

平成 15 年 10 月 1 日、医学部附属病院と歯学部附属病院が統合され、医療法上「北海道大学病院」となりました。

「北海道大学病院」は、北海道大学医学部・歯学部附属の教育・研究施設として、医科・歯科の高度・良質な統合的医療に基づく、全人的医療の提供ならびに全人教育を実践する道内唯一の医療施設として、以下の基本理念に基づき、その目標を実現するため、環境の整備と体制の確立に努めます。

1. 北海道大学病院の理念と目標

① 理念

北海道大学病院は、良質な医療を提供すると共に、優れた医療人を育成し、先進的な医療の開発と提供を通じて社会に貢献します。

② 目標

- ・患者本位で安心・安全な医療の提供
- ・人間性豊かで有能な医療人の育成
- ・先進的な医療の開発と提供
- ・地域医療への貢献

2. 病床数及び診療状況

診療科	病床数	診療状況 (2019 年度実績)	
		外来患者数	入院患者数
内科 I	48 床	23,161 名	15,581 名
内科 II	49	51,550	15,193
消化器内科	48	42,636	17,262
循環器内科	35	15,371	12,181
血液内科	40	14,621	15,017
腫瘍内科	21	5,587	7,066
消化器外科 I	47	10,270	15,645
消化器外科 II	29	5,039	10,509
循環器・呼吸器外科	32	6,360	9,550
整形外科	59	28,584	20,244
泌尿器科	33	21,679	10,930

診療科	病床数	診療状況 (2019年度実績)	
		外来患者数	入院患者数
麻酔科	2	24,567	0
形成外科	25	8,485	7,646
乳腺外科	6	7,392	1,083
救急科	12	1,943	5,872
神経内科 (脳神経内科へ名称変更)	25	13,934	8,358
眼科	35	40,565	12,644
耳鼻咽喉科	38	17,010	11,672
皮膚科	23	15,887	6,533
精神科神経科	70	44,128	18,163
脳神経外科	39	9,163	12,585
リハビリテーション科	20	55,964	2,258
産科	42	9,172	12,769
婦人科	32	21,592	9,759
小児科	33	18,413	11,622
放射線治療科	18	21,561	5,518
放射線診断科	1	54,615	265
核医学診療科	9	5,770	2,501
集中治療室 (ICU)	10	0	(2,302)
高度治療室 (HCU)	5	0	(1,515)
新生児集中治療室 (NICU)	9	0	(3,117)
新生児治療回復室 (GCU)	(11)	0	(1,488)
母体胎児集中治療室 (MFICU)	(3)	0	(1,011)
高度無菌室	6	0	(1,297)
合計	901	595,019	278,426

※病床数 () 内は産科病床数の内数

入院患者数 () 内は各診療科入院患者数の内数

北海道大学病院医師臨床研修プログラムの概要

1. プログラムの名称

- (1) 北海道大学病院臨床研修標準プログラム
- (2) 北海道大学病院臨床研修実践産婦人科プログラム
- (3) 北海道大学病院臨床研修実践小児科プログラム
- (4) 北海道大学病院臨床研修基礎研究医プログラム

2. プログラムの目的と特徴

北海道大学病院と地域の臨床研修病院、診療所が病院群を構成して研修医を受け入れることにより、幅広い分野に対応できる知識・技能といった基本的な診療能力だけではなく、医師としての姿勢・態度を涵養し、社会のニーズに応える真のプロフェッショナルな臨床医を育てるプログラムである。

産婦人科プログラムにおいては、24週選択必修する（産婦人科重点）。また、小児科プログラムにおいても24週選択必修（小児科重点）する。

3. 募集定員：37名（標準32名・産婦人科2名・小児科2名・基礎研究医1名）

※標準プログラムの定員は令和4年度に34名から32名へ変更予定

4. 研修プログラム

1) 研修目標

初期の研修において、全ての研修医が適切な指導体制の下で、効果的に幅広く医師としての必要な診療能力を身につけ、人格を涵養する。

2) 標準プログラム

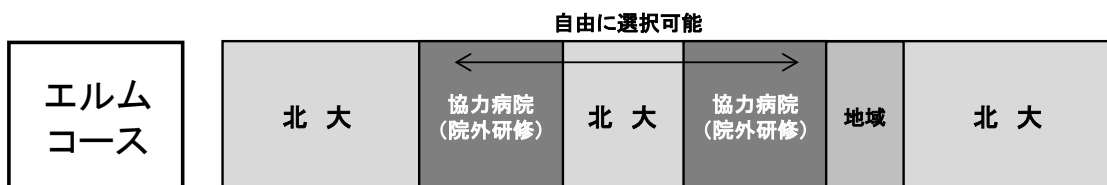
目標を達成するため北海道大学病院では2種類の研修コースを用意した。1年目・2年目ともに大学病院において研修を行う方式（エルムコース）と、学外の協力病院において1年目研修を行い、大学病院において2年目研修を行う方式（たすきコース）である。

・エルムコース（国際的医療人育成プログラムはエルムコースを選択）

1年目（大学病院または協力病院）：必修分野

2年目（大学病院または協力病院）：地域医療4週以上（一般外来を含む）

※2年間で内科24週以上、外科4週以上、小児科4週以上、産婦人科4週以上、精神科4週以上、救急12週以上を研修する。



2年間で

北大病院での研修：52週以上（地域医療研修を含む）

協力病院での研修：52週以内

・たすきコース

1年目（臨床研修病院）：必修分野

2年目（大学病院）：地域医療4週以上（一般外来を含む）

※2年間で内科24週以上、外科4週以上、小児科4週以上、産婦人科4週以上、精神科4週以上、救急12週以上を研修する。



1年目 たすきがけ研修病院での研修：52週

2年目 北 大 病院での研修：52週（地域医療研修を含む）

3) 実践産婦小児科プログラム

1年目（大学病院または協力病院）：産婦人科または小児科選択8週、1年目の40週で内科24週、救急8週、麻酔科4週、外科4週を選択

2年目（大学病院または協力病院）：産婦人科4週、小児科4週、精神科4週、地域医療4週以上、自由選択16週、産婦人科または小児科16週

4) 基礎研究医プログラム

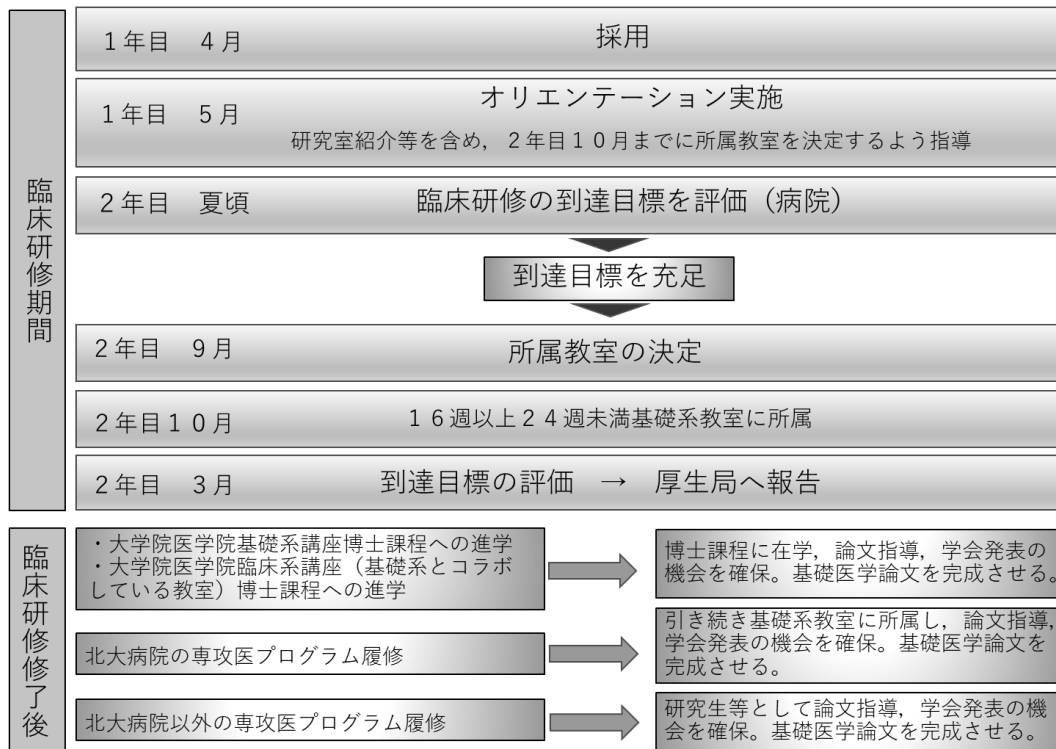
プログラム参加者は、1年目5月に研究室紹介等を含むオリエンテーションを受け、2年目の9月までに臨床研修の到達目標に関する評価を受けたうえで到達目標を充足し、2年目10月までに所属基礎医学教室を決定する。

2年目10月以降には、選択研修期間中に16週以上24週未満の間、基礎医学講座に所属し、指導を受ける。初期研修修了後、北大病院で専攻医プログラムを履修する者は引き続き基礎医学講座に所属し、指導を受け、大学院（博士課程）に進学した者は、正規の課程で指導を受ける。

また、北大病院以外の専攻医プログラム履修等の進路を選択した場合は、研究生等として基礎医学講座に所属し、指導を受け、臨床研修後4年以内の基礎医学論文の作成を目指す。

※2年目の9月までに内科24週以上、外科4週以上、小児科4週以上、産婦人科4週以上、精神科4週以上、救急12週以上を研修する。

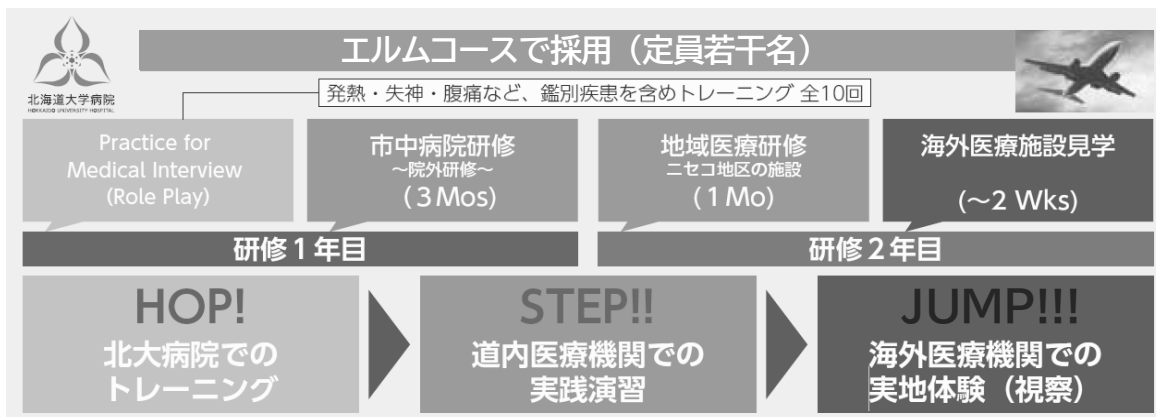
北海道大学 基礎研究医プログラム概要



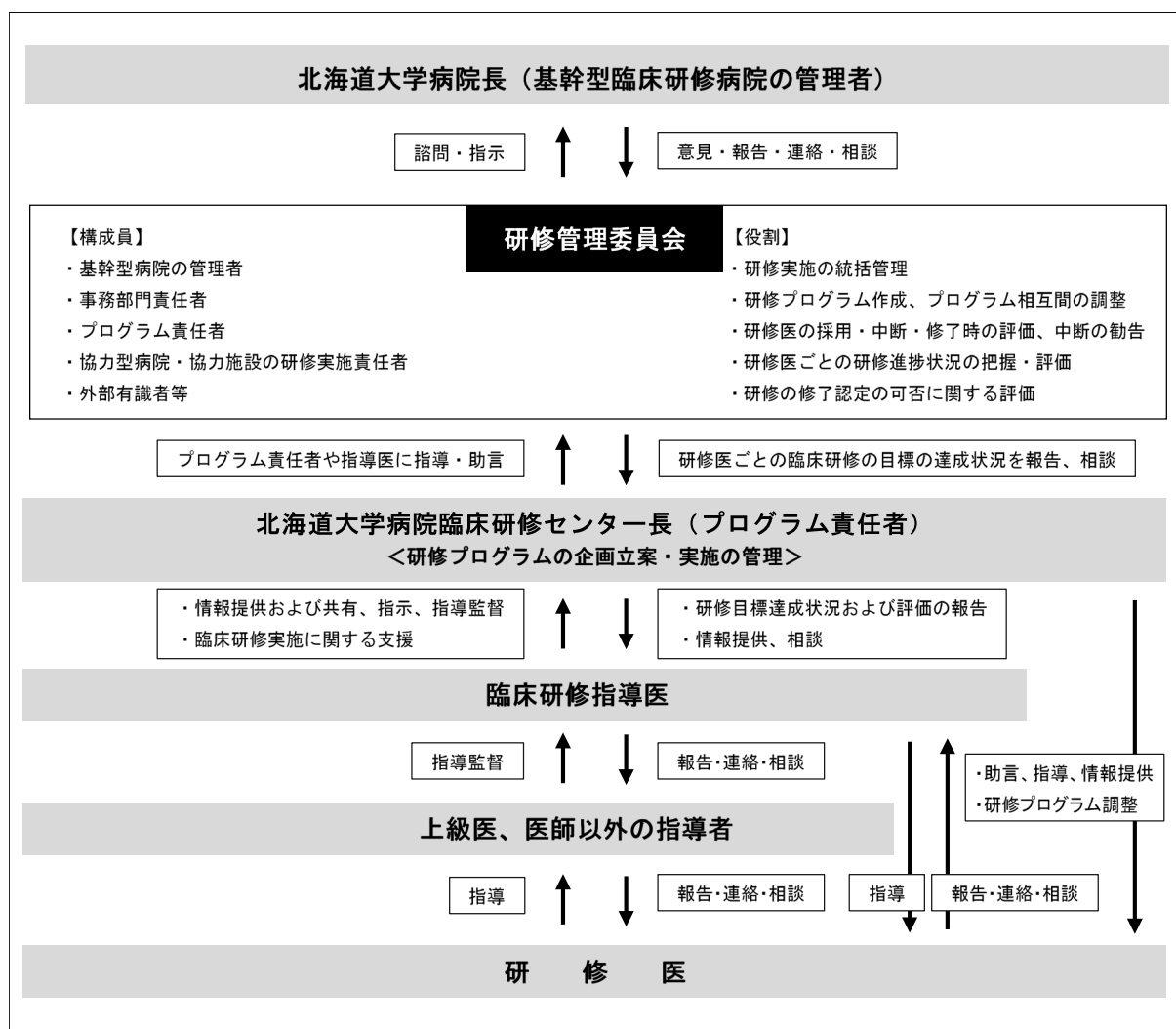
5) 国際的医療人育成プログラム

わが国の長期戦略において、「国際化」は重要な位置づけにあります。医療の現場も例外ではなく、医療技術の輸出や海外への人材派遣など「アウトバウンド事業」や、海外からの患者や医療研修者の受け入れなど「インバウンド事業」が着手されていますが、これらを推進する人材の確保が欠かせません。

国際化に適応し能力を発揮できる医療人の育成は、当院が果たすべき重要なミッションの1つと捉え、2018年度より本プログラムを設置しました。次代を担う Physician Scientist（研究医）の養成を目指し、早期から国際的な環境の中で経験値を高める機会を提供していきます。



指導体制の概要



6. 研修医の処遇

1) 北海道大学病院

身 分：非常勤職員、臨床研修医として採用

手 当：給 与 9,075円/日

臨床研修医手当 5,000円/日

通勤手当あり

寒冷地手当（支給要件を満たす場合）

賞与なし

勤務時間：月曜日～金曜日、8：30～17：00

有給休暇：10日間/年（たすきがけ協力病院研修中は、各病院の規定に基づきます）

リフレッシュ休暇：3日間/年

年末年始休暇：あり

特別休暇：あり（忌引き等）

公的医療保険：社会保険

公的年金：厚生年金

労働保険：労働者災害補償（労災）適用あり

雇用保険あり

病院内の臨床研修医控室：個別デスクあり。LAN 配線。Wi-Fi 完備。

医師賠償責任保険：個別加入

保育施設：北大構内にあり。病後児保育室もあり。

宿 舎：あり（借上宿舎（単身用、男女入居可）定員10名、女性用宿舎（単身用）定員15名）

その他：アルバイト診療禁止（医師法第16条の3）。自動車通勤禁止。

2) 協力型臨床研修病院：各病院の処遇による。

内 科 I

1. 指導医

指導責任者： 今野 哲

指導医： 榊原 純、品川尚文、菊地英毅、菊地順子、大平 洋、朝比奈肇、
鈴木 雅、清水薫子、木村孔一、高島雄太、中久保祥

2. 研修内容

呼吸器 (非腫瘍・ 肺循環)	非腫瘍・肺循環系の呼吸器疾患（閉塞性肺疾患、びまん性肺疾患、アレルギー性肺疾患、呼吸器感染症、肺高血圧症など）の考え方、鑑別、治療方法を学ぶ。問診、診察、胸部写真・呼吸機能検査・心電図の読み方から、気管支鏡検査、心エコー、右心カテーテル検査、抗生剤やステロイドの使い方、呼吸循環管理まで、内科医としての基本的な考え方を学んでもらう。
呼吸器腫瘍	肺癌のみならず、胸部の結節性陰影・腫瘤性陰影、胸膜病変、胸水の考え方、鑑別、診断アプローチ方法を学ぶ。気管支鏡、化学療法、分子標的治療の適応と実際の使用方法を学ぶ。また、癌患者の全身管理を通じて内科医としての基本的な考え方を学び、癌患者への接し方、告知の方法も学んでもらう。

	月	火	水	木	金
午前		9:00- 肺循環カンファ 10:00- 気管支鏡	総回診 11:30- 医局会		10:00- 気管支鏡
午後	16:00- 非腫瘍・肺癌Gカンファ 17:30- 病理カンファ	14:00- 透視下気管支鏡、心カテ 17:00- 放射線治療カンファ 17:30- 外科カンファ	14:00- 透視下気管支鏡		16:00- 非腫瘍カンファ

内 科 II

1. 指 導 医

指導責任者： 渥美達也

指導医： 西尾妙織（腎臓）、奥 健志（膠原病）、中村昭伸（糖尿病・内分泌）、
加藤 将（膠原病）、中沢大悟（腎臓）、曹 圭龍（糖尿病・内分泌）、
藤枝雄一郎（膠原病）、亀田 啓（糖尿病・内分泌）、河野通仁（膠原
病）、野本博司（糖尿病・内分泌）

2. 研修内容

膠原病	自己免疫疾患の診断と治療・発熱性疾患の鑑別・腰椎穿刺・骨髄穿刺・中心静脈確保・胸腹水穿刺
腎臓	腎疾患の診断と治療・電解質の管理・透析・中心静脈確保・胸腹水穿刺
糖尿病・ 内分泌	糖尿病の専門的管理と患者教育・内分泌疾患の鑑別と負荷試験を含む診断と治療

	月	火	水	木	金
午前	回診・病棟	回診・病棟	回診・病棟	回診・病棟	回診・病棟
午後	総回診 カンファレンス (膠原病、糖尿病・ 内分泌、腎臓)	病棟・医局会	病棟	病棟	病棟
備考	カンファレンスの内容・曜日などは変更となることがあります。随時外来見学があります。				

消化器内科

1. 指導医

指導責任者： 坂本直哉

指導医： 小野尚子、大西俊介、清水勇一、小松嘉人、小川浩司、森川賢一、須田剛生、荘 拓也、中井正人、山本桂子、大野正芳、栗谷将城、結城敏志、桂田武彦、川本泰之

2. 研修内容

肝臓	<ul style="list-style-type: none"> ●肝炎ウイルス治療に対する抗ウイルス薬・インターフェロンをはじめとする治療を理解し、習得する。 ●肝癌に対する各種治療を理解し、習得する。 ●食道静脈瘤治療に対する治療を理解し、習得する。 <p>[グループ研修] 月：19時～：外科、放射線科合同カンファレンス、木：16時～：グループカンファレンス、グループ回診</p>
化学療法	<ul style="list-style-type: none"> ●消化器癌に対する標準的化学療法、支持療法を理解し、習得する。 ●腫瘍関連の諸症状(癌性疼痛など)に対する集学的治療の実践。 ●新薬開発に触れることで薬剤開発の流れや仕組みを理解する。 <p>[グループ研修] 月：18時～：グループカンファレンス 水：18時30分～：外科合同カンファレンス(胆膵) 木：9時～：放射線科合同カンファレンス(メール会議)、17時(隔週)～：外科合同カンファレンス(消化管)、18時～：グループカンファレンス 月～金：8時30分/17時00分頃：グループ回診、(不定期/午後)CVポート造設術</p>
内視鏡治療	<ul style="list-style-type: none"> ●模型を使い、消化管内視鏡手技と撮像法の基本を理解し、習得する。 ●上記をマスターできたら、実際に患者(意識下鎮静患者)に対して上部消化管内視鏡検査を実践する。 ●内視鏡所見の記載法を習得する ●消化管疾患の内視鏡診断、治療の基本、合併症を理解する。 ●消化管疾患の内視鏡治療における入院管理を理解する。 <p>[グループ研修] 月：8時20分～：内視鏡画像カンファレンス、8時30分～：抄読会、18時～研究カンファレンス、 水：17時30分～：内視鏡治療カンファレンス、 木：8時30分～：内視鏡画像カンファレンス、 金：17時30分～：外科・病理部・化学療法合同カンファレンス、 月～金：17時00分頃：グループ回診</p>
胆膵	<ul style="list-style-type: none"> ●胆膵内視鏡検査・処置を実際に見て、処置の介助をすることで理解を深める。 ●膵胆道疾患において、US、CT、EUSを中心とした画像診断の基本を身につける。 ●膵胆道癌に対する標準的化学療法、支持療法を理解し、習得する。 <p>[グループ研修] 月曜夕方：グループカンファレンス、 月～金午前(不定期)：超音波内視鏡検査、 火・木午後：ERCPおよびEUS関連手技、 水：19時～外科内科放射線科合同カンファレンス、 月～金：9時00分/17時00分頃：グループ回診</p>
炎症性腸疾患	<ul style="list-style-type: none"> ●潰瘍性大腸炎、クローン病を中心に原因不明の難治性腸疾患の基本的な診断方法、治療方法を身につける。 ●画像診断としてエックス線、CT、エコー、バリウム造影、上下部消化管内視鏡検査の読影、補助を行う。 ●疾患のみを診るのではなく、各患者の背景を含めた全人的な医療を実践することで、医師として必要な人間性、人格を養う。

	月	火	水	木	金
午前	出勤：8:30	出勤：7:30 7:30～：チャート カンファレンス 9:30～：教授回診	出勤：8:30	出勤：8:30	出勤：8:30
午後	内視鏡治療	18:00：医局会		内視鏡治療 ラジオ波(RFA)	
備考	各グループによるスケジュールは上記研修内容を参照				

循環器内科

1. 指導医

指導責任者： 安斉俊久

指導医： 永井利幸、石森直樹、納谷昌直、渡邊昌也、神谷 究、小西崇夫、
鎌田 壘、辻永真吾、萩原 光

2. 研修内容

通常	指導医のもと担当患者を受け持ち、診断、病態把握のための診察・検査を行い、診断に至るプロセスを学ぶ。 循環器疾患の病態・検査・治療に関する基礎知識の習得を行う。 胸部レントゲンならびに心電図の読影を行う。 心エコー検査を自ら施行し、エコー所見の読影を行う。 心臓カテーテル検査（右心カテーテル検査、冠動脈造影検査）を自ら施行し、検査所見を理解する。
心エコー	心エコー検査を自ら施行し、エコー所見の読影を行う。 経食道心エコーなど特殊検査の所見の読影を行う。 原則、循環器内科 通常グループを1か月以上ローテーションする研修医に限る。

	月	火	水	木	金
午前	病棟回診	症例検討会	病棟回診	病棟回診	心臓電気生理検査 カテーテルアブレーション治療
午後	TAVI、MitraClip (手術室) 不整脈カンファレンス	重症心不全カンファレンス VADカンファレンス 虚血性心疾患カンファレンス	心臓カテーテル検査	心臓カテーテル検査	心エコーカンファレンス
備考	その他：病理カンファレンス、外科症例カンファレンスへの参加				

血液内科

1. 指導医

指導責任者： 豊嶋崇徳

指導医： 橋本大吾、遠藤知之、中川雅夫、小野澤真弘、杉田純一、後藤秀樹、
白鳥総一、荒 隆英、大東 寛

2. 研修内容

- ・ 上級医のもと主治医として、化学療法・造血幹細胞移植を中心とした血液疾患への治療を行う。
- ・ 血液疾患に対して遺伝子改変 T 細胞治療を行う。
- ・ 食事摂取不良・全身状態不良に対する全身管理を行う。
- ・ 骨髄穿刺・生検、髄液検査・抗がん剤の髄腔内投与、中心静脈カテーテル挿入などの手技を可能な限り行っていただく。
- ・ 細胞採取（末梢血幹細胞採取、骨髄採取、リンパ球採取）を学ぶ。
- ・ 各種感染症への対応方法、抗生剤やステロイドの使い方について学ぶ。
- ・ HIV/AIDS の管理・治療、臨床研究、各種血液検査所見の解釈について学ぶ。

	月	火	水	木	金
午前	8:30～病棟診療	8:30～病棟診療	8:30～病棟診療	8:30～病棟診療	8:30～病棟診療
午後	病棟カンファレンス 16:00～ 臨床カンファレンス	病棟診療	病棟診療 18:00～ リサーチカンファレンス、抄読会	13:30～教授回診	病棟診療

腫瘍内科

1. 指導医

指導責任者： 秋田弘俊

指導医： 木下一郎、清水 康、竹内 啓、田口 純、野口卓郎、大原克仁

2. 研修内容

肺癌、頭頸部癌、消化器癌、軟部肉腫、神経内分泌腫瘍、乳癌、甲状腺癌、原発不明癌など、臓器横断的に全身の幅広い領域の悪性固形腫瘍の診断、治療（薬物療法や化学放射線療法など）を通して、内科における基本的な臨床能力を身に着けます。

	月	火	水	木	金
午前	8:30～朝カンファ 病棟診療	病棟診療	8:30～朝カンファ 乳腺カンファ 病棟診療 放射線治療カンファ	8:30～朝カンファ 病棟診療	病棟診療
午後	病棟診療	頭頸部癌カンファ 病棟診療	病棟診療 総回診 がん遺伝子診断部カ ンファ	病棟診療 消化器癌カンファ (隔週)	病棟診療
備考	担当症例によって火曜日午後に緩和ケアカンファ、肺癌カンファあり 月1回神経内分泌腫瘍カンファ、皮膚悪性腫瘍カンファ（主にメラノーマ）あり				

消化器外科 I

1. 指導医

指導責任者： 武富紹信

指導医： 神山俊哉、川村典生、蒲池浩文、吉田 雅、嶋村 剛、市川伸樹、
本間重紀、長津明久、本多昌平、折茂達也、島田慎吾、後藤了一

2. 研修内容

術前診断、術前術後検討会でのプレゼン、手術参加、縫合結紮実習、内視鏡縫合結紮実習、術後全身管理をおこないます。患者さんの病態はもちろんのこと、大学病院ならではの基礎疾患をたくさんもったハイリスク患者の術式決定、周術期管理を先輩医師に寄り添って、学びます。また、小児鼠径ヘルニアの手術や、一時的、永久の人工肛門造設術、人工肛門閉鎖術を実際の術者として経験してもらいます。内視鏡手術のトレーナーを用いたスキルアップや、習熟度に応じて、腹腔鏡下大腸切除術を術者として経験してもらいます。

	月	火	水	木	金
午前	術前カンファレンス、回診、外来	回診、手術	術前カンファレンス、回診、手術	M&M カンファレンス、回診、手術	抄読会、回診、手術
午後	教授回診、検査、腹腔鏡下縫合結紮実習	手術、回診	手術、検査、回診	手術、回診	手術、検査、回診
備考					

消化器外科Ⅱ

1. 指導医

指導責任者： 平野 聡

指導医： 七戸俊明、倉島 庸、土川貴裕、岡村圭祐、中村 透、村上壮一、
海老原裕磨、野路武寛、浅野賢道、中西喜嗣、田中公貴、渡邊祐介、
松井あや

2. 研修内容

消化器疾患に対する高難度手術や鏡視下手術の理論と実践のすべてが学べます。特に消化器癌や救急医療では画像診断および手術適応について最新の知見を学べます。周術期管理の実践を通して、知識・技術・検査の実際を習得できます。手術では、手洗いをして手術メンバーとして参加し、皮切、縫合を行っていただきます。

	月	火	水	木	金
午前	回診/手術	回診/検査	回診/手術	回診/検査	回診/手術
午後	検査/手術 リサーチカンファレンス	検査	検査/手術	検査	検査/手術
備考					

循環器・呼吸器外科

1. 指導医

指導責任者： 若狭 哲

指導医： 循環器グループ：若狭 哲、大岡智学、新宮康栄、加藤伸康

呼吸器グループ：加賀基知三、樋田泰浩、加藤達哉、氏家秀樹

2. 研修内容

循環器外科					
プライマリーケアに必要な外科知識や病態、基本的な手技を循環器外科疾患を通して習得する					
	月	火	水	木	金
午前	回診・手術（小児）	回診・手術（成人）	回診・手術（成人）	回診・手術（小児）	回診・手術（成人）
午後	手術（小児）	手術・重症心不全カンファレンス	手術・弁膜症カンファレンス	手術（小児）	手術・症例カンファレンス
備考					

呼吸器外科					
外科志望の研修医は勿論、他の外科系診療科や内科、他専門領域志望の研修医にも胸部画像診断、採血や縫合、ドレーン留置・管理、全身管理、手術適応の判断の実際などを幅広く学んでもらう					
	月	火	水	木	金
午前	朝回診	朝回診	手術・朝回診	朝回診	手術・朝回診
午後	病理切り出し・夕回診	夕回診 胸部腫瘍キャンサーボード	手術・夕回診	夕回診	手術・夕回診
備考					

整形外科

1. 指導医

指導責任者： 岩崎倫政

指導医： 松井雄一郎、近藤英司、小野寺智洋、高橋大介、須藤英毅、高畑雅彦、清水智弘、門間太輔

2. 研修内容

<p>上肢・スポーツ</p>	<p>指導医のもと担当患者を受け持ち、診断、病態把握のための診察を行い、診断に至るプロセスを学ぶ。 神経学的所見、筋・腱・関節所見に関する基礎知識の習得を行う。 Xp、CT、MRIなどの画像の読影トレーニングを行う。 神経伝導速度検査の読影とトレーニングを行う。 手術手技を理解し、基礎的な縫合などを習得する。 外来等で実際のスポーツ選手の診察をおこなう。試合に帯同し診察する。</p>
<p>脊椎</p>	<p>指導医のもと担当患者を受け持ち、診断、病態把握のための診察を行い、診断に至るプロセスを学ぶ。 とくに神経症候学に関する基礎知識の習得を行う。 Xp、CT、MRIなどの画像の読影トレーニングを行う。 各病態（変性疾患・腫瘍・外傷・脊髄損傷・靭帯骨化症など）に関するミニレクチャーが充実しており、スモールディスカッションを通じて理解を深める。 手術手技を理解し、基礎的な縫合などを習得する。 担当症例に関しては助手として手術に入る。</p>
<p>下肢・腫瘍</p>	<p>指導医のもと担当患者を受け持ち、診断、病態把握のための診察を行い、診断に至るプロセスを学ぶ。 主に関節所見に関する基礎知識の習得を行う。 四肢の軟部腫瘍（良性悪性）に関する基礎知識を習得する。 Xp、CT、MRIなどの画像の読影トレーニングを行う。 手術手技を理解し、基礎的な縫合・関節鏡操作などを習得する。</p>
<p>股関節</p>	<p>指導医のもと担当患者を受け持ち、診断、病態把握のための診察を行い、診断に至るプロセスを学ぶ。 主に関節所見に関する基礎知識の習得を行う。 Xp、CT、MRIなどの画像の読影トレーニングを行う。 手術手技を理解し、基礎的な縫合などを習得する。</p>

	月	火	水	木	金
午前	8:00 術後検討会 8:30 各グループ回診 9:00 ミニレクチャー 10:00 診察	7:30 脊椎カンファ 7:30 上肢カンファ 9:00 手術	8:00 各グループ回診 9:00 ミニレクチャー 10:00 診察	8:00 研究検討会 9:00 手術	8:00 各グループ回診 9:00 ミニレクチャー
午後	14:00 総回診 14:45 術前検討会 16:00 股関節カンファ	手術	診断・検査 17:00 下肢カンファ	手術	診断・検査
備考	<p>研修期間及び希望によって研修する班を決めています。担当患者を受け持ち、術前診断、術前術後検討会でのプレゼン、手術参加、縫合結紮実習、内視鏡実習をおこないます。 上肢・スポーツ・脊椎・下肢・腫瘍・股関節と幅広い疾患に対して、診断・治療体系の基礎を学びます。指導する医師数や手術件数も多いため、たくさんの研修医の受け入れが可能です。</p>				

泌尿器科

1. 指導医

指導責任者： 篠原信雄

指導医： 安部崇重、橘田岳也、堀田記世彦、中村美智子、大澤崇宏、田邊 起、
松本隆児、千葉博基、今 雅史

2. 研修内容

病棟、外来、手術と泌尿器科全般にわたり、指導医（専門医）の直接指導のもとで研修を積むことができる。

	月	火	水	木	金
午前	手術	回診 外来研修	手術	回診 外来研修	症例検討会 回診 外来研修
午後	手術	病棟業務	手術	病棟業務：回診 ミニレクチャー	外来患者検討会

麻 酔 科

1. 指 導 医

指導責任者： 森本裕二

指導医： 森本裕二、瀧田恒一、敦賀健吉（緩和）、斉藤仁志（ICU）、内田洋介、森 敏洋、長谷徹太郎、藤田憲明、干野晃嗣、西川直樹、相川勝洋、水野谷和之、三浦基嗣（緩和）、藤井知昭、久保康則、前田洋典

2. 研修内容

1年目の1か月研修は手術麻酔を経験し、周術期管理を広く学ぶことを主眼としています。その他、手技として気道確保、末梢静脈路や観血的動脈圧ライン確保の習得を目指します。2年目の研修では手術麻酔だけでなく、「緩和・ペイン」、「集中治療」それぞれ単独での研修も可能です。希望にあわせて対応いたしますのでお気軽にご相談ください。

	月	火	水	木	金
午前	8:15-勉強会 8:30-カンファ 8:45-手術麻酔	8:30-カンファ 8:45-手術麻酔	8:30-カンファ 8:45-手術麻酔	8:30-カンファ 8:45-手術麻酔	8:30-カンファ 8:45-手術麻酔
午後	手術麻酔 術前回診 術後回診	手術麻酔 術前回診 術後回診	手術麻酔 術前回診 術後回診	手術麻酔 術前回診 術後回診	手術麻酔 術前回診 術後回診
備考	「緩和・ペイン」は月水金 AM ペインクリニック、その他の時間帯は緩和研修、 「集中治療」は基本的に日勤、いずれも希望にあわせて調整します。（要相談）				

形成外科

1. 指導医

指導責任者： 山本有平

指導医： 舟山恵美、大澤昌之、前田 拓、石川耕資

2. 研修内容

手術や外来、カンファランスでのプレゼンテーションを通じて、皮膚・軟部組織腫瘍、他科再建、頭蓋顔面・手足の先天異常および外傷など、多岐にわたる形成外科の診療領域全般にわたって広く知識を学ぶとともに、皮膚縫合などの基本手技を実践することが出来る。

	月	火	水	木	金
午前	手術	カンファランス 外来	外来	カンファランス 手術 外来	手術
午後	手術	総回診 カンファランス	手術	特殊外来	手術

乳腺外科

1. 指導医

指導責任者： 平野 聡

指導医： 竹下卓志、押野智博

2. 研修内容

乳癌診療に対する教育。入院・外来患者の診察、手術の助手、簡単な手術の術者
カンファレンスの準備・参加、学会への参加

	月	火	水	木	金
午前	回診 初診外来	初診外来、回診 手術	術後カンファ、回診 初診外来	回診、手術	回診 病棟管理
午後	病棟管理、回診 画像カンファ (月1回)	手術、回診 放射線治療カンファ	病棟管理、検査、 回診 病理カンファ	手術、回診	病棟管理、回診

救 急 科

1. 指 導 医

指導責任者： 吉田知由

指導医： 早川峰司、前川邦彦、片波見謙一、和田剛志

2. 研修内容

救急科（宿直メイン）	
<p>救急搬入症例の初期診療、および集中治療を含む入院診療が主体の研修です。 担当医として患者を割り当て、上級医と相談しながら主体的に治療に携わります。 幅広く全身を診る力を習得できます。 Dr. car 出動で病院前診療にも携わります。 勤務は平日日勤(9:00-17:00)+週一回の当直です。当直明けは10:30頃までの勤務となります。 他院での救急診療見学の相談にも応じます。</p>	

	月	火	水	木	金
午前	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理
午後	週間カンファレンス、抄読会、初療、病棟管理	初療、病棟管理	初療、病棟管理	初療、病棟管理	初療、病棟管理

救急科（日勤メイン）	
<p>平日日勤(9:00-17:00)の勤務です。宿直メインと比べ、手技を行う機会がどうしても少なくなります。 救急搬入症例の初期診療、および集中治療を含む入院診療が主体の研修です。 Dr. car 出動で病院前診療にも携わります。 他院での救急診療見学の相談にも応じます。</p>	

	月	火	水	木	金
午前	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理
午後	週間カンファレンス、抄読会、初療、病棟管理	初療、病棟管理	初療、病棟管理	初療、病棟管理	初療、病棟管理

脳神経内科

1. 指導医

指導責任者： 矢部一郎

指導医： 矢部一郎、矢口裕章、松島理明、岩田育子、白井慎一
(指導医は全員、神経内科専門医かつ総合内科専門医)

2. 研修内容

神経診察手技の習得とそこから得られた結果の意義を理解し、自ら診断・治療計画を立てることができるような屋根瓦式研修をおこないます。
基本的な神経疾患診療から最新の治療まで幅広く経験することが可能です。
研修医セミナー、症例検討会、筋病理カンファレンスが適宜開催されており、研修医が上級医から学ぶ機会を十分に提供する環境が整備されています。

	月	火	水	木	金
午前	回診 病棟	8:00~9:00 抄読会 9:00~ 総回診	回診 病棟	回診 病棟	回診 病棟
午後	病棟 16:00~神経放射 線カンファレンス 回診	病棟	病棟 回診	病棟 回診	病棟 回診
備考	朝回診は8:30~、夕回診は16:00~を基本としています。筋生検(不定期)は8:30~。 研修医セミナーや症例検討会、筋病理セミナー等が適宜開催されます。				

眼 科

1. 指 導 医

指導責任者： 石田 晋

指導医： 陳 進輝、南場研一、野田航介、新明康弘、岩田大樹、加瀬 諭、
安藤 亮、斎藤理幸、木嶋理紀

2. 研修内容

外来業務、病棟業務をおこない、眼科医に必要な知識や手技を習得する。
豊富な手術症例に携わり、主に助手としてのスキルを学ぶ。
研修中は頻繁に豚眼にて実際の器具を用いた手術実習をおこない、顕微鏡下で手技を学ぶ。

	月	火	水	木	金
午前	外来 手術	外来 手術	外来 手術	外来 手術	外来 手術
午後	病棟 イブニングクルズ 17:00- カンファレ ンス	病棟 17:00- ぶどう膜炎 カンファ	病棟 17:00- カンファレ ンス	病棟 病棟医長回診	病棟 イブニングクルズ

耳鼻咽喉科

1. 指導医

指導責任者： 本間明宏

指導医： 中丸裕爾、加納里志、藤原圭志、溝口兼司、森田真也、鈴木正宣、
対馬那由多

2. 研修内容

まず耳鼻咽喉・頭頸部の所見の取り方を習得してもらいます。外来では新患者の問診をとり、上級医とともに診察、検査を行います。病棟では主治医の一員として担当患者の診察、全身管理を行います。手術では助手として基本的手技を習得した上で、気管切開術など基本的な手術においては上級者の指導のもとで術者として経験できます。カンファレンスでは術前患者の紹介、術後患者の報告を行ってもらいます。

	月	火	水	木	金
午前	手術、病棟回診、一般外来	カンファレンス 病棟回診、専門外来	病棟回診、一般外来、専門外来	カンファレンス 手術、病棟回診	病棟回診、一般外来、専門外来
午後	手術、病棟業務	頭頸部カンファレンス 病棟業務	病棟業務	手術、病棟業務	病棟業務

皮膚科

1. 指導医

指導責任者： 氏家英之

指導医： 夏賀 健、岩田浩明、柳 輝希、泉健太郎、北村真也、宮内俊成

2. 研修内容

<p>病棟での患者管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム医療の一員として、病棟での患者管理に携わり、指導医のもとの確な診療を行う ・各種検査の実践・理解・説明 <p>基本的手術操作の獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚外科の基本手技を理解し、真皮および表皮縫合などができる ・植皮を必要とする悪性腫瘍摘出術など様々な手術の助手を経験する <p>外来診療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導医の皮膚科外来の診療助手を務める
--

	月	火	水	木	金
午前	外来手術	外来病棟	外来・専門外来（アトピー）手術	総回診病棟	外来病棟
午後	病棟手術	病棟専門外来（水疱症） 病理ティーチング	病棟手術 病理ティーチング 医局カンファレンス	専門外来（乾癬、皮膚外来、PUVA） 病棟 研修医プログラム	病棟専門外来（表皮水疱症・魚鱗癬）

精神科神経科

1. 指導医

指導責任者： 久住一郎

指導医： 賀古勇輝、橋本直樹、三井信幸、成田 尚、豊島邦義、高信径介、
大柳有加、磯山友幸、中村悠一、秋山 久、野原万梨子、齊藤卓弥、
柳生一自、須山 聡、中右麻理子

2. 研修内容

<ul style="list-style-type: none"> • 入院患者の担当医： 上級医と一緒に担当（月6名程度）、診療グループでもサポート、疾患が偏らないよう振り分け 長期研修の場合、診療グループは数ヶ月ごとにローテート • 外来初診患者の問診と陪席： 問診と初診医の診察見学（1日2名予約） • カンファレンスでの発表： 水・金の朝に入院患者のカンファレンス開催、月・水の夕方にも症例検討会開催 水にリエゾンカンファレンス開催 • 系統講義： 短期研修向け（1か月）→月7時間、長期研修向け（通年）→年間120時間以上 • 講演会・研究発表（教室行事）： 毎週水曜日17時から開催

	月	火	水	木	金
午前	9:30 外来問診・陪席	8:30 系統講義（年間） 9:30 外来問診・陪席	8:30 病棟カンファ 9:30 外来問診・陪席	8:30 系統講義（年間） 9:30 外来問診・陪席	8:30 病棟カンファ 9:30 外来問診・陪席
午後	13:00 多職種カンファ（隔週） 14:00 グループ回診 15:00 総回診 16:00 症例検討会	14:30 系統講義（月1） 15:00 リエゾンカンファ 16:00 系統講義（月1） 17:00 系統講義（年間）	13:40 病棟レク 15:00 リエゾンカンファ 16:00 系統講義（月2） 17:00 教室行事	15:00 系統講義（月1） 16:00 系統講義（月2） 17:00 系統講義（年間）	15:00 系統講義（月2） 16:00 系統講義（年間） 17:00 系統講義（年間）
備考					

脳神経外科

1. 指導医

指導責任者： 藤村 幹

指導医： 長内俊也、杉山 拓、山口 秀、伊東雅基、川堀真人、関 俊隆、
茂木洋晃

2. 研修内容

脳血管障害、脳腫瘍、脊髄疾患に加えて機能外科部門を増設してより幅広い神経疾患の外科治療を実際に主治医となり研修していただきます。もちろん習熟度・理解度に応じて切る、縫う、開頭するなど手術にも加わっていただきます。

しっかりメンバーとして責任を持って診療に参加してもらうのがモットーです。期間中は希望科にかかわらず脳外科の一メンバーとして研修していただきますので厳しい面もあるかもしれませんが密度の高い時間を過ごせると思います。

	月	火	水	木	金
午前	朝ミーティング 脳腫瘍班カンファ 手術 創部処置など	総回診 創部処置など	朝ミーティング 手術 創部処置など	総回診 小児科腫瘍合同 カンファレンス 手術	血管内治療ミー ティング 手術 創部処置など
午後	手術 放射線カンファ 夜ミーティング	総回診 イブニングセミ ナー 夜ミーティング	手術 夜ミーティング	夜ミーティング	手術 夜ミーティング
備考	随時、術前カンファレンスを行います。				

リハビリテーション科

1. 指導医

指導責任者： 生駒一憲

指導医： 池田 聡、千葉春子

2. 研修内容

主に神経筋疾患のリハビリテーション医療について、病棟主治医として運動学的・神経学的評価、神経心理学的評価、嚥下評価、ADL 評価などを行い、リハビリテーション計画を作成、リハビリテーション処方を行う。

	月	火	水	木	金
午前	カンファレンス 病棟診療 新来見学	病棟診療	6-2 病棟回診 リハ科病棟回診 カンファレンス 医局会	病棟診療 新来見学	病棟診療
午後	病棟診療 カンファレンス 2-2、9-2、HCU 回診	病棟診療 ボツリヌストキ シン療法	抄読会、 嚥下造影検査 嚥下カンファレ ンス 合同カンファレ ンス	病棟診療	病棟診療 嚥下造影検査

産婦人科

1. 指導医

指導責任者： 渡利英道

指導医： 工藤正尊、森川 守、小林範子、武田真人、加藤達矢、金野陽輔、
三田村卓、千葉健太郎、馬詰 武、井平 圭、中川絹子、遠藤大介、
朝野拓史

2. 研修内容

産科（周産期）、婦人科（腫瘍、女性医学）、生殖医学の3分野に分かれて研修します。3分野全ての研修が理想ですが1分野一ヶ月でも大丈夫です。

産科	月	火	水	木	金
8:30～	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス
午前	病棟妊婦健診	病棟新来手術	病棟妊婦健診	病棟新来妊婦健診	病棟新来手術
午後	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟
14:00～	産科ミーティング		勉強会		
16:30～	合同ミーティング				

婦人科	月	火	水	木	金
8:00～	カンファレンス	手術 病棟	カンファレンス	病棟	手術 病棟
午前	病棟新来		病棟新来		
午後	病棟	病棟	病棟	病棟	手術
14:00～	放射線カンファレンス	手術			
15:00～	プレゼン準備	病棟			
15:00～	プレゼン準備				
16:30～	合同ミーティング	術後管理他	水曜カンファレンス	病理カンファレンス	病棟
17:30～			勉強会		術後管理他

小 児 科

1. 指 導 医

指導責任者： 真部 淳

指導医： 真部 淳、竹崎俊一郎、植木将弘、石黒信久、井口晶裕、
長 祐子、平林真介、杉山未奈子、寺下友佳代、白石秀明、
植田佑樹、朝比奈直子、生田目紀子、岡本孝之、佐藤泰征、
林 麻子、高橋俊行、中村明枝、山口健史、武田充人、
山澤弘洲、永井礼子、辻岡孝郎、長 和俊、古瀬優太、
恩田哲雄、安藤明子、小杉山清隆、柳生一自（以上 29 名）

2. 研修内容

免疫	免疫班では免疫不全症、リウマチ・膠原病、自己炎症性疾患などの比較的希な疾患を対象としていますが、こうした患者さんの診療を通して生体防御機構を学び、医療現場でしばしば問題となる”不明熱”や”難治性感染症”の考え方を身につけることが出来ます。
血液	白血病や小児固形腫瘍の診断、化学療法、造血細胞移植の管理を学びます。 日常診療のなかでは点滴確保や骨髄穿刺、腰椎穿刺といった処置も経験できるほか、骨髄標本の読み方の指導も行っています。
循環器	先天性心疾患を中心に新生児から成人までを診療しており、循環管理について学べます。 採血や静脈ライン確保などの手技に加え、希望に応じて心エコーやカテーテルにも触れてもらえます。
内分泌	成長障害・内分泌疾患の診断、治療、検査、遺伝学的検査を研修。 1. 甲状腺疾患（先天性、後天性） 2. 下垂体疾患（前葉、後葉） 3. 性腺疾患 4. 副腎疾患 5. 骨系統疾患 小児 1 型糖尿病・2 型糖尿病・肥満症の診断、治療の研修 先天性疾患、遺伝性疾患、家族性腫瘍、などの遺伝医療の研修
腎臓	小児腎臓病全般の診療を行っています。 主な疾患として、ネフローゼ症候群、I g A 腎症、膜性腎症、膜性増殖性糸球体腎炎、紫斑病性腎炎、先天性腎尿路異常、遺伝性腎疾患、 ループス腎炎、腎不全などが挙げられます。
神経	小児神経疾患全般（てんかん、筋疾患、神経変性疾患など）に関して入院・外来での研修を行っています。 また、発達障害、自閉症に関して、主に外来での診療研修を行っています。
新生児	新生児グループでは、正常新生児から出生体重 500g 未満などの成育限界に近いハイリスク新生児までを診療の対象としています。 産科のみならず、小児外科や眼科など多数の診療科と連携して診療に取り組んでいます。

【新患紹介・総回診の日程】 新生児グループ：火曜日午後 1 時 その他のグループ：水曜日午後 1 時半
*一週間のスケジュールはグループによって異なります

放射線治療科

1. 指導医

指導責任者： 青山英史

指導医： 清水伸一、橋本孝之、加藤徳雄、田口大志、木下留美子、安田耕一、
西岡健太郎 森 崇

2. 研修内容

治療	放射線治療全般についての研修を行います。具体的には新患の診察、放射線治療計画の作成、放射線治療中の診察を指導医とともにを行います。 放射線治療の対象は原発性脳腫瘍、頭頸部腫瘍、肺癌、乳癌、消化器癌、泌尿器腫瘍、婦人科腫瘍、骨軟部腫瘍、小児腫瘍、悪性リンパ腫、転移性腫瘍等 全身・多岐にわたるため、全身の診察技術に触れる事が出来ます。
----	---

	月	火	水	木	金
午前	病棟回診 外来診察	病棟回診 外来診察	病棟カンファレンス リサーチミーティング	消化器科カンファレンス 病棟回診 外来診察	病棟回診 放射線治療中診察
午後	婦人科カンファレンス 小線源治療 治療計画作成 症例検討会	頭頸部カンファレンス 治療計画作成 症例検討会	治療計画作成 症例検討会	治療計画作成 小線源治療 症例検討会	治療計画作成 症例検討会

放射線診断科

1. 指導医

指導責任者： 工藤興亮

指導医： 阿保大介、加藤扶美、藤間憲幸、曾山武士、清水幸衣、坂本圭太、森田 亮、菊池穂香、原田太以佑、亀田浩之

2. 研修内容

体幹部、 中枢神経、 IVR（共通）	研修開始時に体幹部、中枢神経、IVRのどれを研修希望かを確認します。研修は8:30-17:00まで、体幹部（特に胸部・腹部のCT）・中枢神経グループ（頭部CT/MRI）はティーチングファイルでの自己学習の後、実際の症例を読影し適宜指導医から読影レポートのチェック・指導を受けます。IVRは朝8:30～の症例検討会から手技の見学、手伝いをします。研修として、画像検査の適応やモダリティ選択、造影検査の必要性、画像解剖、正常変異や病的所見の検出や記載、病態に応じた記載内容の検討、悪性腫瘍のステージング、鑑別疾患の挙げ方、手技の内容や適応、合併症などを学びます。
--------------------------	---

	月	火	水	木	金
午前	症例カンファレンス（9:30～） 読影/IVR	読影/IVR	読影/IVR	朝カンファレンス（8:00～）、 読影/IVR	読影/IVR
午後	読影/IVR	読影/IVR 症例カンファレンス（16:30～）	読影/IVR 症例カンファレンス（16:30～）	読影/IVR 症例カンファレンス（16:30～）	読影/IVR 症例カンファレンス（16:30～）
備考	各グループは最大2名まで、必要に応じて研修医間で研修の順番や期間を調整して頂く可能性があります。 研修するグループは週単位で調整可能です。				

核医学診療科

1. 指導医

指導責任者： 平田健司

指導医： 平田健司、渡邊史郎

2. 研修内容

実際の RI 投与から画像の撮像を経験し、核医学検査のみならず、他種の検査(CT や MRI など)・経過を交えた読影を通じて、FDG を主体とした PET/CT 検査及び各種 RI 検査の総合的な画像診断を学んでもらう。
 甲状腺癌や Basedow 病に対する I-131 内用療法など、核医学治療の適応や有用性について、病棟業務・希望があれば外来業務を通じて学んでもらう。
 FDG 以外の PET tracer にも触れていただき、興味があれば簡単な研究にも加わっていただく。
 業務内容や検査種が多く、2 か月以上の研修が望ましい。

	月	火	水	木	金
午前	・カンファ ・病棟業務	・病棟業務 ・核医学検査立 会	・抄読会 ・病棟業務 ・核医学検査立 会	・カンファ ・病棟業務 ・核医学検査立 会	・病棟業務 ・核医学検査立 会
午後	・カンファ ・病棟業務	・読影 ・病棟業務	・読影 ・病棟業務	・読影 ・病棟業務	・読影 ・病棟業務
備考	・月曜日・木曜日朝は放射線診断科との合同カンファに参加してもらう。興味がある方は水曜日朝の抄読会に参加してもらう。 ・核医学検査の立会・読影および病棟業務は希望により柔軟に対応する。				

病理診断科

1. 指導医

指導責任者： 松野吉宏

指導医： 松野吉宏、三橋智子、高桑恵美、清水亜衣

2. 研修内容

実際の手術検体や生検検体の病理診断の体験を通じ、適切な検体の取り扱いや代表的な疾患の病理所見の診かた、鑑別診断などの思考過程、報告書記載の要点などを学びます。術中迅速診断や細胞診にも触れ、その意義や限界を学びます。また、臨床病理カンファレンス、あるいは地方会などにおけるプレゼンテーションを通じて、病理所見や考察を正しく簡潔に伝えるスキルを学びます。

	月	火	水	木	金
午前	9:30 組織検討会	9:30 組織検討会	9:30 組織検討会	9:30 組織検討会	9:30 組織検討会
午後	13:00 細胞診検討会 臨床病理カンファレンス（各診療科）	13:00 細胞診検討会 臨床病理カンファレンス（各診療科）	13:00 細胞診検討会 13:45 皮膚病理検討会 臨床病理カンファレンス（各診療科）	13:00 細胞診検討会 13:30 切り出し 臨床病理カンファレンス（各診療科）	13:00 細胞診検討会 13:30 切り出し 臨床病理カンファレンス（各診療科）
備考	初日は8:30に、2階病理部の診断室に集合してください。				

感染制御部

1. 指導医

指導責任者： 石黒信久

指導医： 石黒信久、中久保祥

2. 研修内容

①血液培養陽性患者に関する診療支援、感染症の診断および治療に関するコンサルテーションを中心に感染症診療の基本を学びます。これらを通して、抗菌薬適正使用に関する基本的な知識、予防接種に関する基礎的な知識、TDMの基本的な考え方等を習得します。

②ICT (Infection Control Team)と共に、院内感染事例の対応、ICT会議やICTラウンドへの参加を通して、感染制御の考え方を習得します。

	月	火	水	木	金
午前	症例検討	症例検討	症例検討	症例検討	症例検討
午後	感染症セミナー	感染症セミナー	ICTラウンドに 同行	感染症セミナー	感染症セミナー

検査・輸血部

1. 指導医

指導責任者： 杉田純一

指導医： 杉田純一

2. 研修内容

現在、初期研修の受入を休止しております。

臨床研究開発センター

1. 指導医

指導責任者： 佐藤典宏

指導医： 曹 圭龍、高橋俊行

2. 研修内容

当センターでの研修は臨床研究に関連する以下の実習と講義からなります。

- ①実習：研究実施計画書の評価（模擬的な倫理審査委員会の技術専門員会を体験）
- ②実習：臨床研究のモニタリング研修、及びモニター認定証の発行（試験の合格者）
- ③講義：臨床研究を開始・推進のための基本的な事項の解説
- ④講義：当センターの臨床研究に関する研究支援機能の解説

	月	火	水	木	金
午前	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・研修テーマ設定（試験実施計画書の評価） 	<ul style="list-style-type: none"> ・講義：シーズ開発と知財戦略 ・講義：バイオバンクについて ・講義：CPCについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・治験・臨床研究の必須文書 ・講義：Phase1試験 ・臨床研究データのピットホール 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床研究モニタリング研修 ・モニター認定証交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・講義：生物統計 ・講義：医学系研究の倫理
午後	<ul style="list-style-type: none"> ・講義：臨床研究・治験の概要 ・研修テーマの実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修テーマの実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修テーマの実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・講義：臨床研究のCRC支援 ・倫理審査委員会への陪席参加（開催される場合） 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修テーマの総括として、試験実施計画書の評価実施（模擬的な「技術専門委員会」の開催）
備考	当センターの研修は1週間です。				

臨床遺伝子診療部

1. 指導医

指導責任者： 矢部一郎

指導医： 長 和俊、河口 哲、三田村卓、森田真也、松島理明、山澤弘州、
永井礼子

研修担当者： 柴田有花（認定遺伝カウンセラー）

2. 研修内容

臨床遺伝子診療部では、遺伝診療（検査・診断）やヒトゲノム研究にかかわる遺伝カウンセリングを実施しています。研修期間中は、遺伝カウンセリングや産科遺伝出生前診断外来の見学を通して遺伝診療の一端に触れることができます。また、希望により遺伝学的検査の概要についても研修できます。

	月	火	水	木	金
午前	オリエンテーション 家系図記載方法	産科遺伝出生前 診断外来見学	遺伝カウンセリング実習	遺伝カウンセリング実習	遺伝カウンセリング実習
午後	遺伝カウンセリング実習	産科遺伝出生前 診断外来見学	産科遺伝出生前 診断外来見学	産科遺伝出生前 診断外来見学	遺伝カウンセリング実習
備考	研修期間中に、多領域（産婦人科、小児科、耳鼻科、神経内科、がん遺伝子診断部等）の遺伝診療についてのレクチャー及び定期カンファレンスあり				

超音波センター

1. 指導医

指導責任者： 豊嶋崇徳

指導医： 豊嶋崇徳、工藤與亮、岩野弘幸

指導担当技師： 岩井孝仁、表原里実、菊池桃佳、工藤悠輔、坂野稜典、佐藤恵美、
進藤由衣香、畑瀬理恵、堀江達則、西田 睦

2. 研修内容

心エコー以外の領域のエコー研修を行います。実技実習では超音波プローブの持ち方、走査方法、各臓器の描出法などを学んでいただきます。最初はスクリーニング症例、経過観察症例を対象として被検者に合わせた走査方法を習得します。走査法を習得しつつ、症例に合わせた検査の進め方、一般的な疾患の超音波像、所見の捉え方、レポート法を学びます。希望により研修対象疾患をある程度限定することも可能です（例：小児科疾患、泌尿器、乳腺、甲状腺などの体表臓器、血管、運動器など）。また他科で研修中で曜日指定などでの超音波室での研修の受け入れも可能です。

※診療科変更による追加受入は不可

	月	火	水	木	金
午前	(最初のみオリエンテーション) 検査見学、2周目以降は施行者施行前施行しダブルチェック	指導者検査施行後検査、2周目以降は施行者施行前施行しダブルチェック	指導者検査施行後検査、2周目以降は施行者施行前施行しダブルチェック	指導者施行前検査とダブルチェック	指導者施行前検査とダブルチェック
午後	見学と実技実習 (毎週 19:00～肝カンファレンス、1回/月 18:00～乳腺外科カンファレンス、4回/年 関節カンファレンス 現在全て休止中)	見学と実技実習	指導者検査施行後検査とレポート、2周目以降は施行者施行前施行しダブルチェックとレポート。適宜実技実習(毎週消化器外科 II 主催胆膵カンファレンス 18:30～19:30)	指導者施行前検査とダブルチェックとレポート、2周目以降は施行者施行前施行しダブルチェックとレポート。適宜実技実習	指導者施行前検査とダブルチェックとレポートとレポート。適宜実技実習 (毎週 17:30～18:00消化器病理カンファレンス、1回/月、17:00～18:00 泌尿器科カンファレンス 現在全て休止中)
備考	検査が落ち着いた段階で実技実習を行います。できましたらモデルさんは同僚の先生などをお願いできればと思います。また希望があれば毎週木または金曜にポイントレクチャー（胆嚢炎の診断法、虫垂の描出法など）。希望により上記記載の各科カンファレンス出席。おおよその走査法習得の目安：胆嚢のみ2週間、胆嚢肝臓1ヶ月、肝胆膵腎脾2～3ヶ月、消化管を含む腹腔内臓器3ヶ月、DVT1ヶ月、手指関節2週間など				

募集定員ならびに募集及び採用の方法

1. 募集定員

- ・標準プログラム 32名 ※令和4年度に34名から32名へ変更予定
(国際的医療人育成プログラム及びCLARCプログラム(若干名)を含む)
- ・実践産婦人科プログラム 2名
- ・実践小児科プログラム 2名
- ・基礎研究医プログラム 1名

2. 募集方法

- ① 募集 基礎研究医プログラムを除く募集定員のすべてをマッチングで募集する。
マッチングで欠員が生じた場合には、マッチング終了後に2次募集する。
基礎研究医プログラムの募集及び選考は、別途ホームページに掲載する方法により2021年5月頃に別枠で実施し、採用に至らなかった者はマッチングに参加することができる。
- ② 応募〆切 2021年7月16日(金)
- ③ 応募書類 医科臨床研修医申請書、国際的医療人育成プログラム 志望理由書
(志望者のみ)
- ④ 選考日 2021年8月21日(土)
- ⑤ 選考方法 書類審査・面接試験(WEB面接もあり)
詳細はホームページに掲載します。
- ⑥ 採用通知 マッチング結果によりただちに本人に通知する。

3. その他

以下の病院の協力型臨床研修病院として、研修医の受け入れを行うことがある。

市立函館病院

独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター

市立札幌病院

JA 北海道厚生連札幌厚生病院

公益社団法人北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院

医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院

KKR札幌医療センター

NTT 東日本札幌病院

医療法人 母恋 日鋼記念病院

市立室蘭総合病院

市立旭川病院
JA 北海道厚生連旭川厚生病院
JA 北海道厚生連帯広厚生病院
医療法人王子総合病院
独立行政法人地域医療機能推進機構 北海道病院
砂川市立病院
江別市立病院
社会医療法人北斗 北斗病院
滝川市立病院
苫小牧市立病院
社会福祉法人 北海道社会事業協会帯広病院
北見赤十字病院
市立釧路総合病院
留萌市立病院
伊達赤十字病院
社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院
社会医療法人母恋 天使病院
独立行政法人国立病院機構 函館病院
社会福祉法人 北海道社会事業協会小樽病院
深川市立病院
釧路赤十字病院
KKR札幌医療センター 斗南病院
独立行政法人国立病院機構旭川医療センター
市立稚内病院
独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター
JA 北海道厚生連網走厚生病院
恵み野病院
八雲総合病院
小樽市立病院
JA 北海道厚生連倶知安厚生病院
旭川赤十字病院
岩見沢市立総合病院
札幌東徳洲会病院

臨床研修協力病院（たすきがけ研修病院）一覧

病 院 名	住 所	電話番号	F A X
市立函館病院	函館市港町1丁目10番1号	0138-43-2000	0138-43-4434
市立札幌病院	札幌市中央区北11西13-1-1	011-726-2211	011-726-7912
JA北海道厚生連札幌厚生病院	札幌市中央区北3条東8丁目5番地	011-261-5331	011-271-5320
(独)地域医療機能推進機構札幌北辰病院	札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2-1	011-893-3000	011-893-4001
医療法人溪仁会手稲溪仁会病院	札幌市手稲区前田1条12丁目1-40	011-681-8111	011-685-2998
医療法人徳洲会札幌徳洲会病院	札幌市厚別区大谷地東1丁目1-1	011-890-1110	011-896-2202
医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院	札幌市東区北33条東14丁目3-1	011-722-1110	011-723-5631
KKR札幌医療センター	札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40	011-822-1811	011-841-4572
NTT東日本札幌病院	札幌市中央区南1条西15丁目	011-623-7714	011-623-7527
社会医療法人母恋日鋼記念病院	室蘭市新富町1丁目5-13	0143-24-1331	0143-22-5296
市立旭川病院	旭川市金星町1丁目1番65号	0166-24-3181	0166-24-1125
JA北海道厚生連旭川厚生病院	旭川市1条通24丁目111番地	0166-33-7171	0166-33-6075
JA北海道厚生連帯広厚生病院	帯広市西14条南10丁目1番地	0155-65-0101	0155-65-0105
(独)労働者健康安全機構釧路労災病院	釧路市中園町13番23号	0154-22-7191	0154-25-7308
名寄市立総合病院	名寄市西7条南8丁目1番地	01654-3-3101	01654-2-0567
医療法人王子総合病院	苫小牧市若草町3丁目4番8号	0144-32-8111	0144-32-7119
社会医療法人北楡会札幌北楡病院	札幌市白石区東札幌6条6丁目5-1	011-865-0111	011-865-9719
(独)地域医療機能推進機構北海道病院	札幌市豊平区中の島1条8丁目3-18	011-831-5151	011-821-3851
社会福祉法人函館厚生院函館五稜郭病院	函館市五稜郭町38番3号	0138-51-2295	0138-56-2695
砂川市立病院	砂川市西4条北3丁目1番1号	0125-54-2131	0125-54-0101
江別市立病院	江別市若草町6番地	011-382-5151	011-384-1321
岩見沢市立総合病院	岩見沢市9条7丁目2番地	0126-22-1650	0126-25-0886
滝川市立病院	滝川市大町2丁目2番34号	0125-22-4311	0125-24-6010
苫小牧市立病院	苫小牧市清水町1丁目5番20号	0144-33-3131	0144-34-7511
社会福祉法人北海道社会事業協会帯広病院	帯広市東5条南9丁目2	0155-22-6600	0155-24-7076
北見赤十字病院	北見市北6条東2丁目	0157-24-3115	0157-22-3339
市立釧路総合病院	釧路市春湖台1番12号	0154-41-6121	0154-41-4080
伊達赤十字病院	伊達市末永町81番地	0142-23-2211	0142-23-5249
社会福祉法人函館厚生院函館中央病院	函館市本町33番2号	0138-52-1231	0138-54-7520
社会医療法人製鉄記念室蘭病院	室蘭市知利別町1丁目45番地	0143-44-4650	0143-47-4354
社会医療法人母恋天使病院	札幌市東区北12条東3丁目1番1号	011-711-0101	011-751-1708
(独)労働者健康安全機構 北海道中央労災病院	岩見沢市4条東16丁目5番地	0126-22-1300	0126-22-1304
市立千歳市民病院	千歳市北光2丁目1番1号	0123-24-3000	0123-24-3005
(独)国立病院機構函館病院	函館市川原町18番16号	0138-51-6281	0138-51-6288
社会福祉法人北海道社会事業協会小樽病院	小樽市住ノ江1丁目6番15号	0134-23-6234	0134-33-7752
釧路赤十字病院	釧路市新栄町21番14号	0154-22-7171	0154-24-7880
公益財団法人北海道医療団帯広第一病院	帯広市西4条南15丁目17番地3	0155-25-3121	0155-25-1172
国家公務員共済組合連合会斗南病院	札幌市中央区北4条西7丁目3-8	011-231-2121	011-231-5000
旭川赤十字病院	旭川市曙1条1丁目1番1号	0166-22-8111	0166-24-4648
市立稚内病院	稚内市中央4丁目11番6号	0162-23-2771	0162-23-5636
JA北海道厚生連網走厚生病院	網走市北6西1-9	0152-43-3157	0157-43-6586
小樽市立病院	小樽市若松1丁目1番1号	0134-25-1211	0134-32-6424

臨床研修施設

*施設区分
1:臨床研修病院
2:臨床研修協力施設

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○北海道大学病院	030010	1	北海道	札幌市	秋田 弘俊	944	179	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
市立札幌病院	030003	1	北海道	札幌市	向井 正也	672	58	○	○		○	○	○	○	○	○	○	院外研修協力病院
JCHO札幌北辰病院	030007	1	北海道	札幌市	高橋 昌宏	276	25	○	○		○	○	○	○			○	院外研修協力病院
手稲溪仁会病院	030008	1	北海道	札幌市	成田 吉明	670	50	○	○		○	○	○				○	院外研修協力病院
医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院	030011	1	北海道	札幌市	奥山 淳	301	34	○	○		○	○	○				○	院外研修協力病院
KKR札幌医療センター	030016	1	北海道	札幌市	磯部 宏	410	39	○	○		○	○	○				○	院外研修協力病院
NTT東日本札幌病院	030019	1	北海道	札幌市	吉岡 成人	301	24	○	○		○	○	○		○	○	○	院外研修協力病院
市立旭川病院	030024	1	北海道	旭川市	斉藤 裕輔	478	36	○	○		○	○	○				○	院外研修協力病院
JA北海道厚生連 帯広厚生病院	030027	1	北海道	帯広市	菊池 英明	651	57	○	○		○	○	○				○	院外研修協力病院
医療法人 王子総合病院	030030	1	北海道	苫小牧市	岩井 和浩	440	28	○	○		○	○	○				○	院外研修協力病院
札幌北楡病院	030032	1	北海道	札幌市	米川 元樹	281	9	○	○		○	○	○		○		○	院外研修協力病院
北海道社会事業協会帯広病院	030913	1	北海道	帯広市	阿部 厚憲	300	17	○	○		○	○	○			○	○	院外研修協力病院
北見赤十字病院	030914	1	北海道	北見市	荒川 穰二	532	33	○	○		○	○	○			○	○	院外研修協力病院
総合病院 伊達赤十字病院	030943	1	北海道	伊達市	武智 茂	374	13	○			○	○	○			○	○	院外研修協力病院
製鉄記念室蘭病院	030956	1	北海道	室蘭市	松木 高雪	347	23	○	○		○	○	○			○	○	院外研修協力病院
市立千歳市民病院	031020	1	北海道	千歳市	伊藤 昭英	190	24	○	○		○	○	○		△		○	院外研修協力病院
留萌市立病院	030923	1	北海道	留萌市	村松 博士	300	7			○					○			地域医療研修協力病院
医療法人徳洲会 日高徳洲会病院	031061	1	北海道	新ひだか町	井齋 健矢	199	4			○					○			地域医療研修協力病院
奥尻町国民健康保険病院	031136	1	北海道	奥尻町	竹下 和良	54	2			○					○			地域医療研修協力病院
利尻島国保中央病院	032091	2	北海道	利尻町	保野 洋一	42	1			○					○			地域医療研修協力病院
本別町国民健康保険病院	034839	2	北海道	本別町	一条 正彦	60	5			○					○			地域医療研修協力病院
士別市立病院	034848	1	北海道	士別市	長島 仁	148	2			○					○			地域医療研修協力病院
町立中標津病院	034850	1	北海道	中標津町	丁子 清	199	5			○					○			地域医療研修協力病院
健康会くにもと病院	034875	1	北海道	旭川市	安部 達也	61	5			○					△			地域医療研修協力病院
国民健康保険東川町立診療所	041115	2	北海道	東川町	中田 宏志	19	2			○					○			地域医療研修協力病院
医療法人雄心会 函館新都市病院	041178	1	北海道	函館市	原口 浩一	155	4			○								地域医療研修協力病院
JA北海道厚生連 俱知安厚生病院	041514	1	北海道	俱知安町	九津見 圭司	234	15			○					○			地域医療研修協力病院
浦河赤十字病院	050030	1	北海道	浦河町	大柏 秀樹	196	12			○					○			地域医療研修協力病院
北海道社会事業協会余市病院	056543	1	北海道	余市町	吉田 秀明	170	2			○					○			地域医療研修協力病院
鹿追町国民健康保険病院	056550	2	北海道	鹿追町	林 修也	50	1			○								地域医療研修協力病院
栗山赤十字病院	056556	2	北海道	栗山町	天崎 吉晴	136	6			○					○			地域医療研修協力病院
更別村国民健康保険診療所	056557	2	北海道	更別村	山田 康介	19	2			○								地域医療研修協力病院
寿都町立寿都診療所	086118	2	北海道	寿都町	今江 章宏	19	1			○					○			地域医療研修協力病院
医療法人大地 札幌真駒内病院	110008	1	北海道	札幌市	宮坂 祐司	80	2			○					○			地域医療研修協力病院
黒松内町国保くろまつない プナの森診療所	126816	2	北海道	黒松内町	高橋 琴絵	19	1			○								地域医療研修協力病院
医療法人北海道家庭医療学センター 栄町ファミリークリニック	147583	2	北海道	札幌市	中川 貴史	-	1			○					○			地域医療研修協力病院
向陽台ファミリークリニック	188956	2	北海道	千歳市	中島 徹	-	2			○					○			地域医療研修協力病院
美幌町立国民健康保険病院	188962	2	北海道	美幌町	松井 寛輔	99	1			○								地域医療研修協力病院
市比野記念病院	032233	1	鹿児島	薩摩川内市	黒田 篤	199	5			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
出水郡医師会広域医療センター	032237	1	鹿児島	阿久根市	今村 博	222	11			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
曾於医師会立病院	032243	2	鹿児島	曾於市	才原 哲史	198	2			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
肝属郡医師会立病院	032246	1	鹿児島	錦江町	濱畑 和人	196	3			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
公立種子島病院	032248	1	鹿児島	南種子町	徳永 正朝	62	1			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
大島郡医師会病院	032250	1	鹿児島	奄美市	眞田 純一	188	3			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
奄美中央病院	033293	2	鹿児島	奄美市	福崎 雅彦	110	1			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
薩摩川内市下甕手打診療所	033850	2	鹿児島	薩摩川内市	齋藤 学	19	1			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
医療法人南濱会 宮上病院	067255	2	鹿児島	徳之島町	宮上 寛之	42	1			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
サザン・リージョン病院	086115	2	鹿児島	枕崎市	奥村 浩	131	6			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター	086116	2	鹿児島	西之表市	高尾 尊身	204	7			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
小林市立病院	110019	1	宮崎	小林市	坪内 斉志	143	5			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
恒心会 おぐら病院	116632	1	鹿児島	鹿屋市	小倉 修	216	6			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
種子島産婦人科医院	137411	2	鹿児島	西之表市	前田 宗久	15	1			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
枕崎市立病院	137416	2	鹿児島	枕崎市	佐々木 健	55	2			○					○			鹿児島地域医療研修協力病院
医療法人東札幌病院		2	北海道	札幌市	西山 正彦	243	6										○	緩和ケア研修協力病院

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○市立函館病院	030001	1	北海道	函館市	森下 清文	648	46	○	○		○	○	○				○	たすきがけ研修病院
奥尻町国民健康保険病院	031136	1	北海道	奥尻町	竹下 和良	54	2			○								
松前町立松前病院	034868	1	北海道	松前町	山本 和利	100	1			○								
八雲総合病院	034876	1	北海道	八雲町	石田 博英	327	12						○	○				
市立函館南茅部病院	056540	1	北海道	函館市	加藤 輝夫	59	1			○								
市立函館恵山病院	056541	1	北海道	函館市	川崎 洋	60	2			○								

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○市立札幌病院	030003	1	北海道	札幌市	向井 正也	672	58	○	○		○	○	○	○	○	○	○	たすきがけ研修病院
市立稚内病院	031147	1	北海道	稚内市	國枝 保幸	332	7			○					○			
利尻島国保中央病院	032091	2	北海道	利尻町	保野 洋一	42	1			○								

札幌市保健所	032428	2	北海道	札幌市	三好 雄	-	1													○
市立根室病院	034849	1	北海道	根室市	川本 雅樹	131	12					○								○

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考		
○JA北海道厚生連 札幌厚生病院	030004	1	北海道	札幌市	髙橋 修平	516	76	○	○		○	○	○			○			○	たすきがけ研修病院
医療法人重仁会大谷地病院	030017	1	北海道	札幌市	田尾 大樹	315	7							○					○	
むかわ町 鶴川厚生病院	032455	1	北海道	むかわ町	越智 勝治	40	2			○									○	
JA北海道厚生連 美深厚生病院	032456	1	北海道	美深町	川合 重久	64	2			○									○	
JA北海道厚生連 常呂厚生病院	034873	1	北海道	北見市	山下 昇史	54	1			○									○	
JA北海道厚生連 摩周厚生病院	056534	1	北海道	弟子屈町	森 正光	99	2			○									○	
札幌厚生病院共済クリニック		2	北海道	札幌市	藤永 明	-	1												○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考		
○JCHO札幌北辰病院	030007	1	北海道	札幌市	高橋 昌宏	276	25	○	○		○	○	○	○					○	たすきがけ研修病院
医療法人重仁会大谷地病院	030017	1	北海道	札幌市	田尾 大樹	315	7							○					○	
町立厚岸病院	056533	1	北海道	厚岸町	佐々木 暢彦	55	3			○					○				○	
社会医療法人医仁会 中村記念病院	106123	1	北海道	札幌市	中村 博彦	499	32		○		○								○	
美幌町立国民健康保険病院	188962	2	北海道	美幌町	松井 寛輔	99	1			○					○				○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考		
○手稲溪仁会病院	030008	1	北海道	札幌市	成田 吉明	670	50	○	○		○	○	○						○	たすきがけ研修病院
医療法人耕仁会 札幌太田病院	030009	1	北海道	札幌市	太田 健介	210	3							○					○	
医療法人社団 慈藻会 平松記念病院	030020	1	北海道	札幌市	宗 代次	228	7							○					○	
医療法人社団 五稜会病院	031138	1	北海道	札幌市	中島 公博	193	4							○					○	
医療法人澤山会 手稲病院	033371	1	北海道	札幌市	澤山 浩之	232	6							○					○	
医療法人北仁会 旭山病院	041165	1	北海道	札幌市	市来 和政	344	7							○					○	
JA北海道厚生連 俱知安厚生病院	041514	1	北海道	俱知安町	九津見 圭司	234	15			○										
北海道社会事業協会余市病院	056543	1	北海道	余市町	吉田 秀明	170	2			○										
手稲家庭医療クリニック	096222	2	北海道	札幌市	大塚 亮平			○		○									○	R4年度追加申請予定
医療法人 北祐会 北祐会神経内科病院	137333	1	北海道	札幌市	森若 文雄	105		○											○	R4年度追加申請予定
医療法人 溪仁会 喜茂別町立クリニック	147472	2	北海道	喜茂別町	小嶋 一					○					○					R4年度追加申請予定
札幌西円山病院	178482	2	北海道	札幌市	浦 信行	603	8	○											○	
あさひ町南大通クリニック		2	北海道	江別市	宇土 有巢	-	2	○		○					○				○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考		
○医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院	030011	1	北海道	札幌市	奥山 淳	301	34	○	○		○	○	○			○			○	たすきがけ研修病院
医療法人徳洲会 日高徳洲会病院	031061	1	北海道	新ひだか町	井齋 偉矢	199	4			○									○	
帯広徳洲会病院	031070	1	北海道	音更町	棟方 隆	152	4			○									○	
共愛会病院	031121	1	北海道	函館市	立石 晋	378	6			○									○	
札幌南徳洲会病院	056506	2	北海道	札幌市	四十坊 克也	88	3												○	
おおあさクリニック		2	北海道	江別市	二川原 桂	-	1	○							○				○	
札幌北14条クリニック		2	北海道	札幌市	平間 敏憲	-	1	○							○				○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考		
○医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院	030014	1	北海道	札幌市	太田 智之	325	36	○	○		○	○	○			○			○	たすきがけ研修病院
札幌佐藤病院	030015	1	北海道	札幌市	中村 潔	244	3							○					○	
名寄市立総合病院	030029	1	北海道	名寄市	和泉 裕一	359	29						○						○	
医療法人育愛会 札幌東豊病院	030034	1	北海道	札幌市	犬走 英介	67	4						○						○	
青森県立中央病院	030040	1	青森	青森市	藤野 安弘	684	77												○	R4年度追加申請予定
徳之島徳洲会病院	030951	2	鹿児島	徳之島町	藤田 安彦	199	3			○									○	
名瀬徳洲会病院	031000	2	鹿児島	奄美市	松浦 甲彰	270	5			○									○	
庄内余目病院	031060	2	山形	庄内町	寺田 康	324	5			○									○	
医療法人徳洲会 日高徳洲会病院	031061	2	北海道	新ひだか町	井齋 偉矢	199	4			○									○	
帯広徳洲会病院	031070	2	北海道	音更町	棟方 隆	152	4			○									○	
共愛会病院	031121	2	北海道	函館市	立石 晋	378	6			○									○	
白根徳洲会病院	031122	2	山梨	南アルプス市	石川 真	199	4			○									○	
大隅鹿屋病院	031123	2	鹿児島	鹿屋市	中山 義博	391	15			○									○	
新庄徳洲会病院	031124	2	山形	新庄市	笹壁 弘嗣	270	1			○									○	
山北徳洲会病院	032540	2	新潟	村上市	小林 司	120	1			○									○	
喜界徳洲会病院	033277	2	鹿児島	喜界町	浦元 智司	89	1			○									○	
瀬戸内徳洲会病院	033278	2	鹿児島	瀬戸内町	高橋 和範	60	2			○									○	
屋久島徳洲会病院	033279	2	鹿児島	屋久島町	山本 晃司	139	1			○									○	
沖永良部徳洲会病院	033280	2	鹿児島	知名町	玉榮 剛	132	2			○									○	
与論徳洲会病院	033281	2	鹿児島	与論町	高杉 香志也	81	1			○									○	
宮古島徳洲会病院	033295	2	沖縄	宮古島市	斉藤 憲人	99	2			○									○	
皆野病院	041002	2	埼玉	皆野町	若山 昌彦	150	2			○									○	
笠利病院	041003	2	鹿児島	奄美市	岡 進	89	1			○									○	
宇和島徳洲会病院	041004	2	愛媛	宇和島市	保坂 征司	300	5			○									○	
石垣島徳洲会病院	041005	2	沖縄	石垣市	池原 康一	62	1			○									○	
札幌南徳洲会病院	056506	2	北海道	札幌市	四十坊 克也	88	3												○	
札幌トイカ病院	070020	1	北海道	札幌市	有田 矩明	419	4							○					○	

山川病院	076095	2	鹿児島	指宿市	野口 修二	89	1				○						○			
------	--------	---	-----	-----	-------	----	---	--	--	--	---	--	--	--	--	--	---	--	--	--

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考	
OKKR札幌医療センター	030016	1	北海道	札幌市	磯部 宏	410	39	○	○			○	○		○	○	○	○	たすきがけ研修病院
医療法人社団 慈藻会 平松記念病院	030020	1	北海道	札幌市	宗 代次	228	7							○					
町立中標津病院	034850	1	北海道	中標津町	丁子 清	199	5			○									
静明館診療所	096646	2	北海道	札幌市	矢崎 一雄	-	3			○									
済生会小樽病院	168113	2	北海道	小樽市	和田 卓郎	378	10			○									
北広島病院	188925	2	北海道	北広島市	野村 直弘	90	2			○									
函館市医師会病院	191261	2	北海道	函館市	金子 行宏	240	7			○									

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○NTT東日本札幌病院	030019	1	北海道	札幌市	吉岡 成人	301	24	○	○			○	○		○	○	○	たすきがけ研修病院
医療法人 耕仁会 札幌太田病院	030009	1	北海道	札幌市	太田 健介	210	3										○	
利尻島国保中央病院	032091	2	北海道	利尻町	保野 洋一	42	1			○								
枝幸町国民健康保険病院	032445	1	北海道	枝幸町	白井 信正	83	2			○								
柏葉脳神経外科病院	040040	1	北海道	札幌市	寺坂 俊介	144	3		○									○
国民健康保険東川町立診療所	041115	2	北海道	東川町	中田 宏志	19	2			○								
北海道社会事業協会余市病院	056543	1	北海道	余市町	吉田 秀明	170	2			○								
社会医療法人 仁会会 中村記念病院	106123	1	北海道	札幌市	中村 博彦	499	32		○		○							○

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○社会医療法人 母恋 日鋼記念病院	030021	1	北海道	室蘭市	柳谷 晶仁	479	20	○	○			○	○		○	○	○	たすきがけ研修病院
社会医療法人 友愛会 恵愛病院	030022	1	北海道	登別市	森田 伸行	250	2							○				
市立室蘭総合病院	030023	1	北海道	室蘭市	金戸 宏行	549	11	○	○			○					○	○
医療法人 徳洲会 日高徳洲会病院	031061	2	北海道	新ひだか町	井齋 偉矢	199	4			○								
特定医療法人社団 千寿会 三愛病院	031142	1	北海道	登別市	千葉 泰二	534	3							○				
置戸赤十字病院	031148	2	北海道	置戸町	長谷川 岳尚	95	2			○								
利尻島国保中央病院	032091	2	北海道	利尻町	保野 洋一	42	1			○								
医療法人 北農会 恵み野病院	034855	1	北海道	恵庭市	貝嶋 光信	199	12	○	○			○	○					○
松前町立松前病院	034868	1	北海道	松前町	山本 和利	100	1			○								
医療法人社団 医修会 大川原脳神経外科病院	041012	1	北海道	室蘭市	前田 高宏	137	4				○							○
町立厚岸病院	056533	1	北海道	厚岸町	佐々木 暢彦	55	3			○								
清水赤十字病院	090006	1	北海道	清水町	藤城 貴教	92	3			○								

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○市立旭川病院	030024	1	北海道	旭川市	斉藤 裕輔	478	36	○	○			○	○		○	○	○	たすきがけ研修病院
旭川厚生病院	030025	1	北海道	旭川市	森 達也	539	52						○					
江別市立病院	030835	1	北海道	江別市	富山 光広	337	16	○	○									
旭川赤十字病院	031127	1	北海道	旭川市	牧野 憲一	520	58	○	○									○
国立病院機構旭川医療センター	031145	1	北海道	旭川市	西村 英夫	310	15	○	○									○
枝幸町国民健康保険病院	032445	1	北海道	枝幸町	白井 信正	83	2			○								
北海道立羽幌病院	034831	1	北海道	羽幌町	阿部 昌彦	120	3			○								R4年度追加申請予定

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○JA北海道厚生連 旭川厚生病院	030025	1	北海道	旭川市	森 達也	539	52	○	○			○	○		○	○	○	たすきがけ研修病院
市立旭川病院	030024	1	北海道	旭川市	斉藤 裕輔	478	36							○				
旭川赤十字病院	031127	1	北海道	旭川市	牧野 憲一	520	58											○
国立病院機構旭川医療センター	031145	1	北海道	旭川市	西村 英夫	310	15	○	○									○
北海道療育園	032094	1	北海道	旭川市	林 時伸	336	7											○
むかわ町 鶴川厚生病院	032455	1	北海道	むかわ町	越智 勝治	40	2			○								
JA北海道厚生連 美深厚生病院	032456	1	北海道	美深町	川合 重久	64	2			○								
JA北海道厚生連 常呂厚生病院	034873	1	北海道	北見市	山下 昇史	54	1			○								
JA北海道厚生連 摩周厚生病院	056534	1	北海道	弟子屈町	森 正光	99	2			○								
医療法人社団 萌生会 サンビレッジクリニック	076732	2	北海道	旭川市	加藤 隆文	-	0			○								

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○JA北海道厚生連 帯広厚生病院	030027	1	北海道	帯広市	菊池 英明	651	57	○	○			○	○		○	○	○	たすきがけ研修病院
むかわ町 鶴川厚生病院	032455	1	北海道	むかわ町	越智 勝治	40	2			○								
JA北海道厚生連 美深厚生病院	032456	1	北海道	美深町	川合 重久	64	2			○								
JA北海道厚生連 常呂厚生病院	034873	1	北海道	北見市	山下 昇史	54	1			○								
JA北海道厚生連 摩周厚生病院	056534	1	北海道	弟子屈町	森 正光	99	2			○								
十勝いけだ地域医療センター	116456	2	北海道	池田町	長田 雅樹	60	1			○								

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○独立行政法人 労働者健康安全機構 釧路労災病院	030028	1	北海道	釧路市	高橋 弘昌	450	29	○	○			○					○	たすきがけ研修病院
市立釧路総合病院	030922	1	北海道	釧路市	高平 真真	641	23					○	○	○			○	
釧路赤十字病院	031088	1	北海道	釧路市	山口 辰美	483	19					○	○	○			○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○製鉄記念室蘭病院	030956	1	北海道	室蘭市	松木 高雪	347	23	○	○		○	○	○			○	○	たすきがけ研修病院
社会医療法人友愛会 恵愛病院	030022	1	北海道	登別市	森田 伸行	250	2						○					
特定医療法人社団千寿会 三愛病院	031142	1	北海道	登別市	千葉 泰二	534	3						○					
本輪西ファミリークリニック	033959	2	北海道	室蘭市	佐藤 弘太郎	-	2			○								
沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター付属 渡嘉敷診療所	034647	2	沖縄	渡嘉敷村	山城 啓太	-	1			○								
沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター付属 阿嘉診療所	034648	2	沖縄	座間味村	長田 健太郎	-	1			○								
沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター付属 渡名喜診療所	034649	2	沖縄	渡名喜村	富名腰 朝史	-	1			○								
沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター付属 粟国診療所	034650	2	沖縄	粟国村	三宅 孝充	-	1			○								
沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター付属 北大東診療所	034651	2	沖縄	北大東村	下里 美由希	-	1			○								
沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター付属 南大東診療所	034652	2	沖縄	南大東村	菊池 徹哉	-	1			○								
沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター付属 座間味診療所	034653	2	沖縄	座間味村	石原 昌貴	-	1			○								
医療法人社団洞仁会 洞爺温泉病院	070021	2	北海道	洞爺湖町	中谷 玲二	216				○								R4年度追加申請予定
寿都町立寿都診療所	086118	2	北海道	寿都町	今江 章宏	19	1			○								

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○社会医療法人 母恋 天使病院	030969	1	北海道	札幌市	西村 光弘	260	32	○	○		○	○	○	○	○	○	○	たすきがけ研修病院
勤医協中央病院	030006	1	北海道	札幌市	鈴木 隆司	450	44											選択科:総合診療科
社会医療法人 母恋 日鋼記念病院	030021	1	北海道	室蘭市	柳谷 晶仁	479	20	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
利尻島国保中央病院	032091	2	北海道	利尻町	保野 洋一	42	1			○					○		○	
中江病院	032450	1	北海道	札幌市	小林 清樹	280	4							○			○	
北海道泌尿器科記念病院	066461	2	北海道	札幌市	鈴木 要	40	5										○	
札幌麻生脳神経外科病院	090003	1	北海道	札幌市	飛驒 一利	145	8										○	
社会医療法人孝仁会 北海道大野記念病院	090004	1	北海道	札幌市	大川 洋平	276	2										○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○北海道中央労災病院	031006	1	北海道	岩見沢市	大塚 義紀	199	9	○	○		○							たすきがけ研修病院

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○市立千歳市民病院	031020	1	北海道	千歳市	伊藤 昭英	190	24	○	○		○	○	○		△	○	○	たすきがけ研修病院
医療法人資生会 千歳病院	147614	1	北海道	千歳市	佐藤 正俊									○				R4年度追加申請予定
向陽台ファミリークリニック	188956	2	北海道	千歳市	中島 徹	-	2			○					△			

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○国立病院機構函館病院	031023	1	北海道	函館市	加藤 元嗣	305	40	○	○		○						○	たすきがけ研修病院
国立病院機構仙台医療センター	030046	1	宮城	仙台市	上之原 広司	660	87	○	○			○	○				○	
社会福祉法人 函館厚生院 函館中央病院	030952	1	北海道	函館市	本橋 雅壽	527	17						○					
社会医療法人 函館博栄会 函館渡辺病院	031134	1	北海道	函館市	増岡 昭生	536	1							○				
奥尻町国民健康保険病院	031136	1	北海道	奥尻町	竹下 和良	54	2			○								
国立病院機構旭川医療センター	031145	1	北海道	旭川市	西村 英夫	310	15	○										
国立病院機構北海道医療センター	034846	1	北海道	札幌市	菊地 誠志	643	46		○		○	○					○	
せたな町立国保病院	060018	1	北海道	せたな町	森 利光	60	1			○								

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○北海道社会事業協会小樽病院	031051	1	北海道	小樽市	柿木 滋夫	240	13	○	○		○	○	○				○	たすきがけ研修病院
北海道社会事業協会帯広病院	030913	1	北海道	帯広市	阿部 厚憲	300	17											○
小樽市立病院	040004	1	北海道	小樽市	信野 祐一郎	388	35		○					○				
医療法人勉仁会東小樽病院	041167	2	北海道	小樽市	中垣 卓	120	1			○								
北海道社会事業協会余市病院	056543	1	北海道	余市町	吉田 秀明	170	2			○								

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○釧路赤十字病院	031088	1	北海道	釧路市	山口 辰美	483	19	○	○		○	○	○	○			○	たすきがけ研修病院
独立行政法人労働者健康安全機構 釧路労災病院	030028	1	北海道	釧路市	高橋 弘昌	450	29	○			○						○	○
北見赤十字病院	030914	1	北海道	北見市	荒川 穰二	532	33	○	○		○	○	○	○			○	○
市立釧路総合病院	030922	1	北海道	釧路市	高平 真	643	23	○	○		○	○	○	○			○	○
旭川赤十字病院	031127	1	北海道	旭川市	牧野 憲一	520	58	○	○		○	○	○	○			○	○
北海道釧路総合振興局 保健環境部保健行政室・釧路保健所	032404	2	北海道	釧路市	高垣 正計	-	1											○
小清水赤十字病院	032430	1	北海道	小清水町	伊藤 嘉行	99	3			○								
釧路市夜間急病センター	086276	2	北海道	釧路市	杉元 紘一	-	0		○									
清水赤十字病院	090006	1	北海道	清水町	藤城 貴教	92	3			○								

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者(病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考	
○帯広第一病院	031089	1	北海道	帯広市	山並 秀章	230	9	○	○		○						○	○	たすきがけ研修病院

【臨床研修修了について】

重 要

1. 北海道大学病院医師臨床研修修了要件

研修分野による修了要件

1. 内科 24週以上（内科Ⅰ、内科Ⅱ、消化器内科、循環器内科、血液内科、腫瘍内科、神経内科）
2. 外科 4週以上（消化器外科Ⅰ、消化器外科Ⅱ、循環器・呼吸器外科、泌尿器科、乳腺外科、脳神経外科）
3. 小児科 4週以上
4. 産婦人科 4週以上（産科・婦人科ともに経験すること。）
5. 精神科 4週以上（精神科専門外来または精神科リエゾンチームでの研修を含むこと。）
6. 救急 12週以上（麻酔科 4週を含んでもよい。）
7. 地域医療 4週以上（原則 2年目に行う。一般外来研修と在宅医療を含むこと。病棟研修を行う場合は、慢性期・回復期病棟での研修を含めること。）
8. 一般外来 4週以上（原則、初診患者の診療及び慢性疾患の継続診療を含むこと。）

北海道大学病院における修了要件

項目	修了要件	確認欄（日付を記入）			
オリエンテーション	すべての日程に出席すること				
研修医セミナー	すべての日程に出席すること				
特別企画セミナー	出席すること				
医療安全・感染制御講演会	年 2 回受講すること				
多職種合同研修会	年 3 回出席すること				
センター面談	年 2 回面談を行うこと				
EPOC Day	出席すること（入力状況を確認すること）	8/26（木）			
医師臨床研修専門委員会	指定された回に出席すること				
教育型 CPC	年 3 回出席すること （2 年間のうちに 1 回発表・発言・レポート提出すること）				
JAMEP （基本的臨床能力評価試験）	2 年間のうちに 1 回受験すること （北大研修中に受験すること）				
研修修了発表会	1 年目・2 年目ともに出席すること				
	2 年目に抄録・スライドを提出すること	抄録		スライド	

EPOC2入力・病歴要約作成による修了要件

下記の項目について、2年目の12月18日までに入力・作成を完了すること。

1. 到達目標 A：「医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）」に関する評価
ローテーション終了時に「研修医評価票Ⅰ」を用いて、到達目標に対する自己評価を行い、指導医にも同様に評価を受けること。
2. 到達目標 B：「資質・能力」に関する評価
ローテーション終了時に「研修医評価票Ⅱ」を用いて、到達目標に対する自己評価を行い、指導医にも同様に評価を受けること。
3. 到達目標 C：「基本的診療業務」に関する評価
ローテーション終了時に「研修医評価票Ⅲ」を用いて、到達目標に対する自己評価を行い、指導医にも同様に評価を受けること。
4. 必修項目「経験すべき29症候」「経験すべき26疾病・病態」「経験すべき診察法・検査・手技等」「その他の研修」について経験し、EPOC2へ入力し、指導医の評価を受けること。
病歴要約を作成する場合は、「病歴、身体所見、検査所見、アセスメント、プラン（診断、治療、教育）、考察等を含む」こと。
5. 「一般外来研修」について、「実施記録表」に記入し、指導医の承認（サイン・押印）を受けること。また、同様の内容をEPOC2へ入力すること。一般外来研修20日を達成した際には、「実施記録表」を臨床研修センターへ提出すること。

その他の修了要件

- 2年間の研修中の休止日数が90日以下かつ正当な理由（傷病、妊娠、出産、育児など）であること。
※休止日数が90日を超えている場合は、超過日数分以上の追加研修を行い、上記基準に準じて個別に修了判定を行います。
- 一般常識を逸脱する、就業規則を遵守できない、チーム医療を乱すなど、医療の適切な遂行に支障を来す場合は、修了を認められない場合があります。

必須	経験すべき症候-29 症候-						
	外来または病棟において、次の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応を行う。						
	経験日	症例 ID	退院時 要約	外来 サマリー	申し送り サマリー	転科 サマリー	週間 サマリー
1. ショック	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 体重減少・るい瘦	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 発疹	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 黄疸	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 発熱	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. もの忘れ	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 頭痛	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. めまい	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 意識障害・失神	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. けいれん発作	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 視力障害	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 胸痛	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 心停止	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 呼吸困難	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 吐血・喀血	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. 下血・血便	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 嘔気・嘔吐	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18. 腹痛	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19. 便通異常（下痢・便秘）	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20. 熱傷・外傷	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21. 腰・背部痛	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22. 関節痛	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23. 運動麻痺・筋力低下	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24. 排尿障害（尿失禁・排尿困難）	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25. 興奮・せん妄	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
26. 抑うつ	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
27. 成長・発達の障害	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
28. 妊娠・出産	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
29. 終末期の症候	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

必須	経験すべき疾病・病態-26 疾病・病態-						
	外来または病棟において、次の疾病・病態を有する患者の診察にあたる。						
	経験日	症例 ID	退院時 要約	外来 サマリー	申し送り サマリー	転科 サマリー	週間 サマリー
1. 脳血管障害	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 認知症	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 急性冠症候群	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 心不全	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 大動脈瘤	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 高血圧	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 肺癌	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 肺炎	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 急性上気道炎	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 気管支喘息	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 急性胃腸炎	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 胃癌	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 消化性潰瘍	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 肝炎・肝硬変	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. 胆石症	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 大腸癌	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18. 腎盂腎炎	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19. 尿路結石	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20. 腎不全	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21. 高エネルギー外傷 ・骨折	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22. 糖尿病	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23. 脂質異常症	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24. うつ病	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25. 統合失調症	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
26. 依存症 (ニコチン・アルコール・ 薬物・病的賭博)	/		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

必須	その他（経験すべき診察法・検査・手技等）		
	研修期間全体を通じて経験し、形成的評価、総括的評価の際に習得度を評価する。		
		経験日	診療科
1. 医療面接	<input type="checkbox"/>	/	科
2. 身体診察	<input type="checkbox"/>	/	科
3. 臨床推論	<input type="checkbox"/>	/	科
4. 臨床手技	<input type="checkbox"/>	/	科
①気道確保	<input type="checkbox"/>	/	科
②人工呼吸（バッグ・バルブ・マスクによる徒手換気を含む。）	<input type="checkbox"/>	/	科
③胸骨圧迫	<input type="checkbox"/>	/	科
④圧迫止血法	<input type="checkbox"/>	/	科
⑤包帯法	<input type="checkbox"/>	/	科
⑥採血法（静脈血）	<input type="checkbox"/>	/	科
（動脈血）	<input type="checkbox"/>	/	科
⑦注射法（皮内）	<input type="checkbox"/>	/	科
（皮下）	<input type="checkbox"/>	/	科
（筋肉）	<input type="checkbox"/>	/	科
（点滴）	<input type="checkbox"/>	/	科
（静脈確保）	<input type="checkbox"/>	/	科
（中心静脈確保）	<input type="checkbox"/>	/	科
⑧腰椎穿刺	<input type="checkbox"/>	/	科
⑨穿刺法（胸腔）	<input type="checkbox"/>	/	科
（腹腔）	<input type="checkbox"/>	/	科
⑩導尿法	<input type="checkbox"/>	/	科
⑪ドレーン・チューブ類の管理	<input type="checkbox"/>	/	科
⑫胃管の挿入と管理	<input type="checkbox"/>	/	科
⑬局所麻酔法	<input type="checkbox"/>	/	科
⑭創部消毒とガーゼ交換	<input type="checkbox"/>	/	科
⑮簡単な切開・排膿	<input type="checkbox"/>	/	科
⑯皮膚縫合	<input type="checkbox"/>	/	科
⑰軽度の外傷・熱傷の処置	<input type="checkbox"/>	/	科
⑱気管挿管	<input type="checkbox"/>	/	科
⑲除細動	<input type="checkbox"/>	/	科
5. 検査手技	<input type="checkbox"/>	/	科
①血液型判定・交差適合試験	<input type="checkbox"/>	/	科

②動脈血ガス分析（動脈採血を含む）	<input type="checkbox"/>	/	科
③心電図の記録	<input type="checkbox"/>	/	科
④超音波検査	<input type="checkbox"/>	/	科
6. 地域包括ケア・社会的視点	<input type="checkbox"/>	/	科
7. 診療録			
①診療録	<input type="checkbox"/>	/	科
②退院時要約（考察を含む）	<input type="checkbox"/>	/	科
③各種診断書の作成（死亡診断書を含む）	<input type="checkbox"/>	/	科

必須	その他の研修		
	全研修期間を通じて、基本的な診察において必要な分野・領域等に関する研修を行う。		
		経験日	講習会名/研修会名
1. 感染対策（院内感染や性感染症等）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	/	
2. 予防医療（予防接種を含む） 法定健診（検診）、総合健診、人間ドック、予防接種など	<input type="checkbox"/>	/	
3. 虐待への対応 BEAMS 虐待プログラムの受講など	<input type="checkbox"/>	/	
4. 社会的復帰支援 長期入院患者の社会復帰支援計画の作成、外来通院時のフォローアップなど	<input type="checkbox"/>	/	
5. 緩和ケア 緩和ケア研修会の参加など	<input type="checkbox"/>	/	
6. アドバンス・ケア・プランニング ACP 講習会の参加など	<input type="checkbox"/>	/	
7. 臨床病理検討会（CPC） 剖検の立ち合い、CPC 研修会での症例提示など ※レポートを作成し、提出すること	<input type="checkbox"/>	/	

【一般外来研修 実施記録表】研修医氏名

半日=0.5 コマ 20日=40 コマの研修が必須です。

一般外来研修とは、「総合診療科・一般内科・一般外科・小児科・地域研修」での
外来研修をいいます。

必要事項の記入、指導医の承認（押印またはサイン）が必要です。

外来 研修 日数	研修病院名	年・月・日	担当外来	初診患者	再診患者	慢性疾患 継続診療	退院後 初回患者	指導医 承認 (押印 or サイン)
0.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
1.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
1.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
2.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
2.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
3.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
3.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
4.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
4.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
5.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
5.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
6.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
6.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
7.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
7.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
8.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
8.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
9.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
9.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
10.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	

【一般外来研修 実施記録表】研修医氏名

半日=0.5 コマ 20日=40コマの研修が必須です。

一般外来研修とは、「総合診療科・一般内科・一般外科・小児科・地域研修」での
外来研修をいいます。

必要事項の記入、指導医の承認（押印またはサイン）が必要です。

外来 研修 日数	研修病院名	年・月・日	担当外来	初診患者	再診患者	慢性疾患 継続診療	退院後 初回患者	指導医 承認 (押印 or サイン)
10.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
11.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
11.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
12.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
12.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
13.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
13.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
14.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
14.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
15.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
15.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
16.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
16.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
17.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
17.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
18.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
18.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
19.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
19.5日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
20.0日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
日		・ ・	総・内・外・児・地	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	

★外来研修 20日達成⇒北海道大学病院 臨床研修センターへ提出

2. EPOC 2 研修評価入力について（マニュアル参照）

【自己評価】

2年間の研修の進行状況については、EPOC 2を利用して行います。研修医は、各自、EPOC 2（オンライン臨床研修評価システム）にアクセスし、入力を行います。

研修医が入力する評価は、以下の8種類です。

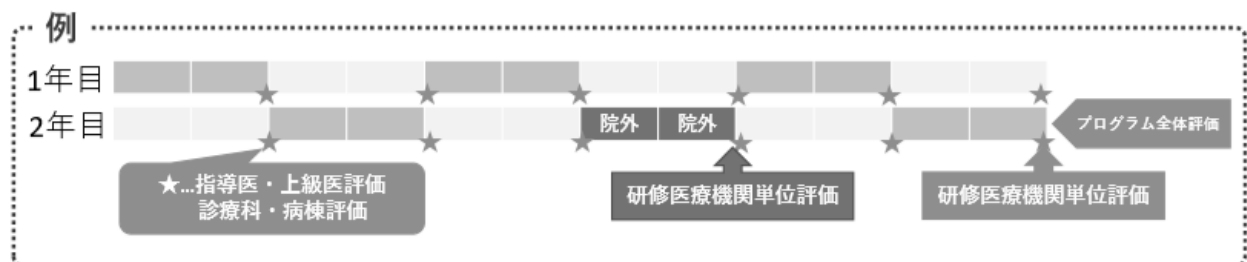
- (1) ローテーションごとに行う経験症候／疾病・病態の登録
- (2) ローテーションごとに行う研修医評価票Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの自己評価
- (3) ローテーションごとに行う指導医・上級医・診療科評価
- (4) 随時行う基本的臨床手技の登録
- (5) 一般外来研修の実施記録
- (6) その他の研修活動の記録
- (7) 研修病院ごとに行う研修医療機関単位評価
- (8) 2年間の研修修了時に行うプログラム全体評価

(1)～(5)は、ローテーション最終日の「EPOC 入力完了日」までに入力します。

【指導医評価】

指導医は、ローテーションごとに研修医評価票Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを入力します。

指導医の評価入力が行われないと、「経験目標を達成した」ことにはなりませんので、自己評価の入力を完了した際に、指導医評価を依頼するようにしてください。



【360° 評価】

指導医以外にも、医師や看護師、様々なメディカルスタッフによる研修医評価が行われます。この評価は、臨床研修センターから各診療科へ依頼をします。

★EPOC 2は、UMIN-IDとPWでログインします。（スマホ・PC）

UMIN-ID を忘れてしまった場合は、臨床研修センターへお越し下さい。

PW を忘れてしまった場合は・・・

下記 URL へアクセスし、ご自分の出身大学を選んで手続きをして下さい。

https://center2.umin.ac.jp/cgi-open-bin/shinsei/tanto_list.cgi

3. 病歴要約の作成について

病歴要約とは、退院時要約、外来サマリー、患者申し送りサマリー、転科サマリー、週間サマリーなどを言う。病歴要約を作成する場合は、「病歴、身体所見、検査所見、アセスメント、プラン（診断、治療、教育）」に加え、「**考察**」を必ず含むこと。

「経験すべき疾病・病態」の中の少なくとも1症例は、外科手術に至った症例を選択し、病歴要約には必ず手術要約を含めること。

4. 研修修了発表会について

この研修修了発表会では、2年目研修医が初期研修2年間の中で最も印象に残った出来事から学んだこと(SEA：次ページ参照)について、スライド形式で発表します。院内・院外問わず、1年目研修医も出席必須行事となっています。

【研修修了発表会 / 修了証授与式・祝賀会】

日時：2022年3月11日(金) 15:00~19:30(予定)

場所：未定

発表時間：1人12分(発表：7分 + 質疑応答：5分)

※発表者は、スライド提出後に公表されます。

発表内容：印象に残った出来事からの学び(Significant Event Analysis)

【事前提出物】(2年目)

抄録：タイトル、本文400字以内

Word ファイルをメールに添付して提出

2021年12月23日(木) 提出締切

スライド：Power Point

メール添付もしくはUSB 持ち込みで提出

2022年2月22日(火) 提出締切

※研修医控え室の本棚にある、過去の抄録・スライドのファイルを参考にして下さい。

※次年度の予定については、後日改めて連絡します。

【参考資料】

1. SEA (Significant Event Analysis) の実施の仕方

地域医療研修・修了発表会など

- ① **自分にとっての意義ある出来事**を研修経験の中から分析のために選びます。
 - ・ 意義ある出来事とは、日常臨床の中で、悩んだこと、驚いたこと、不安に感じたこと、嬉しかったこと、深く考えたこと、一筋縄ではいかなかった体験、などです。
 - ・ 医師人生、臨床実践において特に重要と思われる出来事を選んでください。
 - ・ 事例の科学的な側面の分析(病態、治療など)ではなく、事例から導かれる医師としての態度、行動などの側面に焦点を当てて分析します。
- ② 分析の仕方は次ページのフォーマットに沿って行います。
- ③ まず出来事の内容を詳しく記載してください。
- ④ 出来事の中で湧き上がった**感情について取り上げる**ことが重要です。
- ⑤ 出来事に対する分析、考えについては、**正解、不正解はありません**。
あくまでも、自分がどのように考え、そこから何を学んだかが重要です。
- ⑥ 事例から学ばれる**一般化された教訓**をはっきりさせるようにしてください。

■取り上げる事例の例

- ・ 倫理的ジレンマの事例
- ・ 医療格差の問題事例
- ・ 患者とその家族との関わりの事例
- ・ 地域医療の課題の事例
- ・ 患者とのコミュニケーションの事例
- ・ 在宅医療の困難事例
- ・ コメディカルとの関わりの事例
- ・ 不十分な医療資源の中で対応を迫られた事例
- ・ 地域住民との交流の事例
- ・ 都市部医療との違いを実感した事例

Significant Event Analysis(SEA)

① 意義深い出来事の描写(何が起こったのか)	
② その出来事は自分にとってなぜ意義深いのか、どういう意味があるのか	
③ なぜその出来事が生じたのか	
④ その出来事の中で、自分なりにうまく対処できたこと	
⑤ その出来事の中で、自分なりにうまく対処できなかったこと	
⑥ どのように対処すればよかったのか	
⑦ この出来事を体験して導かれた自分への教訓や次への行動指針	

2. 研修達成目標（研修医評価票Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）

研修医評価票Ⅰ

「A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）」に関する評価

研修医 氏名 _____

研修分野・診療科 _____

研修期間 年 月 日 ~ 年 月 日

指導医 氏名 _____

記載日 年 月 日

	レベル1 期待を 大きく 下回る	レベル2 期待を 下回る	レベル3 期待 通り	レベル4 期待を 大きく 上回る	観察 機会 なし
A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与 社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、限りある資源や社会の変遷に配慮した公正な医療の提供および公衆衛生の向上に努める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A-2. 利他的な態度 患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A-3. 人間性の尊重 患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A-4. 自らを高める姿勢 自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A-5. 印象に残るエピソードがあれば記述してください。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。					

※「期待」とは「研修修了時に期待される状態」とする。

研修医評価票Ⅱ

「B. 資質・能力」に関する評価

研修医 氏名 _____

研修分野・診療科 _____

研修期間 年 月 日 ~ 年 月 日

指導医 氏名 _____

記載日 年 月 日

記入の仕方

《レベルの説明》

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
医学部卒業時に修得しているレベル (モデル・コア・カリキュラム相当)	臨床研修の中途時点で期待されるレベル	臨床研修の終了時点で到達すべきレベル (到達目標相当)	他者のモデルになり得るレベル

《評価のイメージ図》

評価項目						
レベル1 モデル・コア・カリキュラム	レベル2	レベル3 研修終了時に期待されるレベル		レベル4		
	●					
		●				
	●					
		●				
		●				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
□観察する機会が無かった						
コメント：						

研修医 氏名 _____

B-1. 医学・医療における倫理性						
診察、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。						
レベル1 モデル・コア・カリキュラム	レベル2		レベル3 研修終了時で期待されるレベル		レベル4	
<p>■医学・医療の歴史的な流れ、臨床倫理や生と死に係る倫理的問題、各種倫理に関する規範を概説できる。</p> <p>■患者の基本的権利、自己決定権の意義、患者の価値観、インフォームドコンセントとインフォームドアセントなどの意義と必要性を説明できる。</p> <p>■患者のプライバシーに配慮し、守秘義務の重要性を理解した上で適切な取り扱いができる。</p>	人間の尊厳と生命の不可侵性に関して尊重の念を示す。		人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。		モデルとなる行動を他者に示す。	
	患者のプライバシーに最低限配慮し、守秘義務を果たす。		患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。		モデルとなる行動を他者に示す。	
	倫理的ジレンマの存在を認識する。		倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。		倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づいて多面的に判断し、対応する。	
	利益相反の存在を認識する。		利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。		モデルとなる行動を他者に示す。	
	診察、研究、教育に必要な透明性確保と不正行為の防止を認識する。		診察、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。		モデルとなる行動を他者に示す。	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
□観察する機会が無かった						
コメント：						

研修医 氏名 _____

B-2. 医学知識と問題対応能力						
最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。						
レベル1 モデル・コア・カリキュラム	レベル2		レベル3 研修終了時で期待されるレベル		レベル4	
<p>■必要な課題を発見し、重要性・必要性に照らし、順位付けをし、解決にあたり、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な方法を見出すことができる。適切な自己評価と改善のための方策を立てることができる。</p> <p>■講義、教科書、検索情報などを統合し、自らの考えを示すことができる。</p>	頻度の高い症候について、基本的な鑑別診断を挙げ、初期対応を計画する。		頻度の高い症候について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。		主な症候について、十分な鑑別診断と初期対応をする。	
	基本的な情報を収集し、医学的知見に基づいて臨床決断を検討する。		患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。		患者に関する詳細な情報を収集し、最新の医学的知見と患者の意向や生活の質への配慮を統合した臨床決断をする。	
	保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案する。		保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。		保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、患者背景、多職種連携も勘案して実行する。	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
□観察する機会が無かった						
コメント：						

研修医 氏名 _____

B-3. 診療技能と患者ケア			
臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。			
レベル1 モデル・コア・カリキュラム	レベル2	レベル3 研修終了時で期待されるレベル	レベル4
<p>■必要最低限の病歴を聴取し、網羅的に系統立てて、身体診察を行うことができる。</p> <p>■基本的な臨床技能を理解し、適切な態度で診断治療を行うことができる。</p> <p>■問題志向型医療記録形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。</p> <p>■緊急を要する病態、慢性疾患に関して説明ができる。</p>	必要最低限の患者の健康状態に関する情報を心理・社会的側面を含めて安全に収集する。	患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。	複雑な症例において、患者の健康に関する情報を心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。
	基本的な疾患の最適な治療を安全に実施する。	患者の状態に合わせた、最適な治療を安全に実施する。	複雑な疾患の最適な治療を患者の状態に合わせて安全に実施する。
	最低限必要な情報を含んだ診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切に作成する。	診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。	必要かつ十分な診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成でき、記載の模範を示せる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
□観察する機会が無かった			
コメント：			

研修医 氏名 _____

B-4. コミュニケーション能力						
患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。						
レベル1 モデル・コア・カリキュラム		レベル2		レベル3 研修終了時で期待されるレベル		レベル4
<p>■コミュニケーションの方法と技能、及ぼす影響を概説できる。</p> <p>■良好な人間関係を築くことができ、患者・家族に共感できる。</p> <p>■患者・家族の苦痛に配慮し、分かりやすい言葉で心理的社会的課題を把握し、整理できる。</p> <p>■患者の要望への対処の仕方を説明できる。</p>		最低限の言葉遣い、態度、身だしなみで患者や家族に接する。		適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。		適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで、状況や患者家族の思いに合わせた態度で患者や家族に接する。
		患者や家族にとって必要最低限の情報を整理し、説明できる。指導医とともに患者の主体的な意思決定を支援する。		患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。		患者や家族にとって必要かつ十分な情報を適切に整理し、分かりやすい言葉で説明し、医学的判断を加味した上で患者の主体的な意思決定を支援する。
		患者や家族の主要なニーズを把握する。		患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。		患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握し、統合する。
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 観察する機会が無かった						
コメント：						

研修医 氏名 _____

B-5. チーム医療の実践						
医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。						
レベル1 モデル・コア・カリキュラム	レベル2		レベル3 研修終了時で期待されるレベル		レベル4	
<p>■チーム医療の意義を説明でき、(学生として)チームの一員として診療に参加できる。</p> <p>■自分の限界を認識し、他の医療従事者の援助を求められることができる。</p> <p>■チーム医療における医師の役割を説明できる。</p>	<p>単純な事例において、医療を提供する組織やチームの目的等を理解する。</p>		<p>医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。</p>		<p>複雑な事例において、医療を提供する組織やチームの目的とチームの目的等を理解したうえで実践する。</p>	
	<p>単純な事例において、チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。</p>		<p>チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。</p>		<p>チームの各構成員と情報を積極的に共有し、連携して最善のチーム医療を実践する。</p>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 観察する機会が無かった						
<p>コメント：</p>						

研修医 氏名 _____

B-6. 医療の質と安全の管理			
患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。			
レベル1 モデル・コア・カリキュラム	レベル2	レベル3 研修終了時で期待されるレベル	レベル4
<p>■医療事故の防止において個人の注意、組織的なリスク管理の重要性を説明できる。</p> <p>■医療現場における報告・連絡・相談の重要性、医療文書の改ざんの違法性を説明できる。</p> <p>■医療安全管理体制の在り方、医療関連感染症の原因と防止に関して概説できる。</p>	医療の質と患者安全の重要性を理解する。	医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。	医療の質と患者安全について、日常的に認識・評価し、改善を提言する。
	日常業務において、適切な頻度で、報告・連絡・相談ができる。	日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。	報告・連絡・相談を実践するとともに、報告・連絡・相談に対応する。
	一般的な医療事故等の予防と事後対応の必要性を理解する。	医療事故等の予防と事後の対応を行う。	非典型的な医療事故等を個別に分析し、予防と事後対応を行う。
	医療従事者の健康管理と自らの健康管理の必要性を理解する。	医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む。）を理解し、自らの健康管理に努める。	自らの健康管理、他の医療従事者の健康管理に努める。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
□観察する機会が無かった			
コメント：			

研修医 氏名 _____

B-7. 社会における医療の実践						
医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会と国際社会に貢献する。						
レベル1 モデル・コア・カリキュラム	レベル2		レベル3 研修終了時で期待されるレベル		レベル4	
<p>■離島・へき地を含む地域社会における医療の状況、医師偏在の現状を概説できる。</p> <p>■医療計画及び地域医療構想、地域包括ケア、地域保健などを説明できる。</p> <p>■災害医療を説明できる。</p> <p>■（学生として）地域医療に積極的に参加・貢献する。</p>	保健医療に関する法規・制度を理解する。		保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。		保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解し、実臨床に適用する。	
	健康保険、公費負担医療の制度を理解する。		医療費の患者負担に配慮しつつ、健康保険、公費負担医療を適切に活用する。		健康保険、公費負担医療の適用の可否を判断し、適切に活用する。	
	地域の健康問題やニーズを把握する重要性を理解する。		地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案する。		地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案・実行する。	
	予防医療・保健・健康増進の必要性を理解する。		予防医療・保健・健康増進に努める。		予防医療・保健・健康増進について具体的な改善案などを提示する。	
	地域包括ケアシステムを理解する。		地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。		地域包括ケアシステムを理解し、その推進に積極的に参画する。	
	災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要が起こりうることを理解する。		災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要に備える。		災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要を想定し、組織的な対応を主導する実際に対応する。	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
□観察する機会が無かった						
コメント：						

研修医評価票Ⅱ

研修医 氏名 _____

B-8. 科学的探究						
医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。						
レベル 1 モデル・コア・カリキュラム	レベル 2		レベル 3 研修終了時で期待されるレベル		レベル 4	
<p>■研究は医学・医療の発展や患者の利益の増進のために行われることを説明できる。</p> <p>■生命科学の講義、実習、患者や疾患の分析から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。</p>	医療上の疑問点を認識する。		医療上の疑問点を研究課題に変換する。		医療上の疑問点を研究課題に変換し、研究計画を立案する。	
	科学的研究方法を理解する。		科学的研究方法を理解し、活用する。		科学的研究方法を目的に合わせて活用実践する。	
	臨床研究や治験の意義を理解する。		臨床研究や治験の意義を理解し、協力する。		臨床研究や治験の意義を理解し、実臨床で協力・実施する。	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 観察する機会が無かった						
コメント：						

研修医評価票Ⅱ

研修医 氏名 _____

B-9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢							
医療の質の向上のために省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。							
レベル1 モデル・コア・カリキュラム		レベル2		レベル3 研修終了時で期待されるレベル		レベル4	
<p>■生涯学習の重要性を説明でき、継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>		急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収の必要性を認識する。		急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。		急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収のために、常に自己省察し、自己研鑽のために努力する。	
		同僚、後輩、医師以外の医療職から学ぶ姿勢を維持する。		同僚、後輩、医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。		同僚、後輩、医師以外の医療職と共に研鑽しながら、後進を育成する。	
		国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。）の重要性を認識する。		国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。）を把握する。		国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。）を把握し、実臨床に活用する。	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 観察する機会が無かった							
コメント：							

「C. 基本的診療業務」に関する評価

研修医 氏名 _____

研修分野・診療科 _____

研修期間 年 月 日 ~ 年 月 日

指導医 氏名 _____

記載日 年 月 日

	レベル1 指導医の 直接の監 督の下で できる	レベル2 指導医が すぐに対 応できる 状況下で できる	レベル3 ほぼ単独 でできる	レベル4 後進を指 導できる	観察 機会 なし
C-1. 一般外来診療 頻度の高い症候・病態について、適切な臨床推論プロセスを経て診断・治療を行い、主な慢性疾患については継続診療ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C-2. 病棟診療 急性期の患者を含む入院患者について、入院診療計画を作成し、患者の一般的・全身的な診療とケアを行い、地域連携に配慮した退院調整ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C-3. 初期救急対応 緊急性の高い病態を有する患者の状態や緊急度を速やかに把握・診断し、必要時には応急処置や院内外の専門部門と連携ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C-4. 地域医療 地域医療の特性および地域包括ケアの概念と枠組みを理解し、医療・介護・保健・福祉に関わる種々の施設や組織と連携できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C-5. 印象に残るエピソードがあれば記述してください。					

修了時

臨床研修の目標の達成度判定票

研修医 氏名： _____

到達目標	達成状況 既達／未達		備考
A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）			
1. 社会的使命と公衆衛生への寄与	<input type="checkbox"/> 既	<input type="checkbox"/> 未	
2. 利他的な態度	<input type="checkbox"/> 既	<input type="checkbox"/> 未	
3. 人間性の尊重	<input type="checkbox"/> 既	<input type="checkbox"/> 未	
4. 自らを高める姿勢	<input type="checkbox"/> 既	<input type="checkbox"/> 未	
B. 資質・能力			
1. 医学・医療における倫理性	<input type="checkbox"/> 既	<input type="checkbox"/> 未	
2. 医学知識と問題対応能力	<input type="checkbox"/> 既	<input type="checkbox"/> 未	
3. 診療技能と患者ケア	<input type="checkbox"/> 既	<input type="checkbox"/> 未	
4. コミュニケーション能力	<input type="checkbox"/> 既	<input type="checkbox"/> 未	
5. チーム医療の実践	<input type="checkbox"/> 既	<input type="checkbox"/> 未	
6. 医療の質と安全の管理	<input type="checkbox"/> 既	<input type="checkbox"/> 未	
7. 社会における医療の実践	<input type="checkbox"/> 既	<input type="checkbox"/> 未	
8. 科学的探究	<input type="checkbox"/> 既	<input type="checkbox"/> 未	
9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢	<input type="checkbox"/> 既	<input type="checkbox"/> 未	
C. 基本的診療業務			
1. 一般外来診療	<input type="checkbox"/> 既	<input type="checkbox"/> 未	
2. 病棟診療	<input type="checkbox"/> 既	<input type="checkbox"/> 未	
3. 初期救急対応	<input type="checkbox"/> 既	<input type="checkbox"/> 未	
4. 地域医療	<input type="checkbox"/> 既	<input type="checkbox"/> 未	
臨床研修の目標の達成状況			<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未
(臨床研修の目標の達成に必要な条件等)			

年 月 日

北海道大学病院 初期臨床研修プログラム責任者

平野 聡

3. 臨床研修医の医療行為に関する基準

北海道大学病院における臨床研修医の医療行為に関する基準

北海道大学病院

平成 16 年 5 月 10 日制定

平成 21 年 5 月 27 日一部改定

平成 22 年 7 月 21 日一部改定

基準の運用上の留意点

1. 原則として研修医が行う、あらゆる医療行為には指導医の許可が必要である
2. 救急救命時にはこの限りではないが、可及的速やかに指導医に確認または立会いを依頼する
3. 北海道大学病院としての基準を各診療科で運用する際に、患者の状態により、レベルを上げることがあり得るが、下げることはしない

研修医の医療行為に関する基準

レベル 1：研修医が単独で行ってよい医療行為

- ・ 初回実施時は指導医の立会いのもとで実施する
- ・ 困難な状況があった場合は、指導医に相談する

レベル 2：指導医の許可を得た上で、単独で行ってよい医療行為

- ・ 研修期間の経過に伴う、研修医の技能の向上の判断(熟練度の評価)は症例経験数を踏まえ、指導医が能力評価を行った上で、研修医単独での施行を認める
- ・ 許可を与えるための、症例数や技術評価の基準は特に定めない
- ・ 同じ医療行為であっても患者個々に条件が異なる。同一患者における同一医療行為であっても患者の状態は一定ではないので、毎回許可を得てから実施する

レベル 3：指導医の立ち会いを必須とする医療行為

- ・ 2 年間の研修期間において、研修医単独での施行を認めない

	処 方	注 射	診察・その他
レベル 1	定期処方の継続 臨時処方の継続	皮内注射 皮下注射 筋肉注射 静脈注射 末梢点滴	医療面接 全身の視診、打診、触診 基本的な身体診察法:泌尿・生殖器の診察、小児を除く 直腸診 耳鏡、鼻鏡、検眼鏡による診察 インスリン自己注射指導 血糖値自己測定指導 診断書の複製 診療録の作成
レベル 2	定期処方の変更 新たな処方(定期・臨時等) 高カロリー輸液処方 酸素療法の処方 経腸栄養新規処方 危険性の高い薬剤の処方 (危険性の高い薬剤としてリスト化されている処方) <ul style="list-style-type: none"> ・向精神薬 ・抗悪性腫瘍剤 ・心血管作動薬 ・抗不整脈薬 ・抗凝固薬 ・インスリン 麻薬処方 : 法律により、麻薬施用者免許を受けている医師以外は麻薬を処方してはいけない	輸血 危険性の高い薬剤の注射 (危険性の高い薬剤としてリスト化されている注射) <ul style="list-style-type: none"> ・向精神薬 ・抗悪性腫瘍剤 ・心血管作動薬 ・抗不整脈薬 ・抗凝固薬 動脈内への薬剤投与 麻薬剤注射 : 法律により、麻薬施用者免許を受けている医師以外は麻薬を処方してはいけない	紹介状の作成 診断書の作成 治療食の指示
レベル 3		関節内注射	内診 死亡診断書の作成 重要な病状説明 インフォームドコンセントの取得

	検 査	処 置
レベル1	<p>正常範囲の明確な検査の指示・判断 一般尿検査、便検査、血液型不適合試験、血液・生化学的検査、血液免疫血清学的検査、髄液検査、細菌学的検査・薬剤感受性検査など</p> <p>他部門依頼検査指示 心電図・ホルター心電図指示、単純 x 線検査指示、肺機能検査指示、脳波検査指示など</p> <p>超音波検査の実施 動脈圧測定、中心静脈圧測定 MMSE (Mini-Mental State Examination) 聴力、平衡、味覚、嗅覚、知覚検査、視野、視力検査、間接喉頭鏡 アレルギー検査(貼付)、長谷川式認知テスト</p>	静脈採血 皮膚消毒、包帯交換 外用薬貼付・塗布 気道内吸引、ネブライザー 気管カニューレ交換 局所浸潤麻酔 抜糸 ドレーン抜去 皮下の止血 包帯法
レベル2	<p>検査結果の判読・判断 心電図・ホルター心電図判読、単純 x 線検査判読、肺機能検査判読、脳波判読、超音波検査判読など</p> <p>インフォームドコンセントの必要な検査指示 CT 検査・MRI 検査・核医学検査など</p> <p>筋電図、神経伝導速度、 内分泌負荷試験、運動負荷検査</p>	動脈血採血 創傷処置、軽度の外傷・熱傷の処置 導尿、浣腸 尿カテーテル挿入と管理—新生児・未熟児は除く 胃管挿入と管理 皮下の膿瘍切開・排膿 皮膚縫合 ドレーン・チューブ類の管理 動脈ライン留置 小児の静脈採血 人工呼吸器の管理 透析の管理 静脈留置針の穿刺、留置

	検 査	処 置
レ ベ ル 3	<p>以下の侵襲的検査 負荷心電図検査 負荷心エコー検査 直腸鏡検査、肛門鏡 消化管造影、脊髓造影など</p> <p>以下の危険性の高い侵襲的な検査 胸腔・腹腔鏡検査 気管支鏡、膀胱鏡 消化管内視鏡検査・治療 経食道エコー 肝生検、筋生検・神経生検 心・血管カテーテル検査</p> <p>発達・知能・心理テストの解釈</p>	<p>以下の侵襲的処置 骨髄穿刺、胸腔穿刺、腹腔穿刺、腰椎穿刺など、髄腔内抗癌剤注入</p> <p>以下の危険性の高い侵襲的な処置・救急処置 <u>マスクとバッグによる用手的換気、エアウェイの使用(経口、経鼻)、ラリンジアルマスクの挿入、気管挿管、除細動、IABP (Intra Aortic Balloon Pumping), PCPS (Percutaneous Cardio Pulmonary Support) など</u></p> <p>中心静脈カテーテル挿入・留置 小児の動脈穿刺 針生検 脊髄麻酔 硬膜外麻酔 吸入麻酔 深部の止血 深部の膿瘍切開・排膿、深部の嚢胞切開・排膿、深部の嚢胞穿刺、深部の縫合</p>

- レベル3のうち下線の行為については、救急救命のためただちに施行が必要とされる場合には研修医が単独で実施可能
- 電子カルテの記載は、原則として48時間以内に指導医の承認が必要
- 紹介状、診断書は、患者・家族に手渡す前に指導医のダブルサインが必要

ダブルサインとは：研修医と指導医の間で交わされる行為、記事記載について事後承認扱い。研修医が入力した「診察記事」、「電子コメント」に対してのみ指導医が事後承認を行う。

(参考)

カウンターサインとは：医学生と指導医の間で交わされる行為、診察記事について事前承認扱い。

北海道大学病院医師臨床研修管理委員会内規

平成 23 年 3 月 10 日
制 定

(設置)

第 1 条 北海道大学病院（以下「病院」という。）に、病院の医師臨床研修における研修プログラム（以下「研修プログラム」という。）が円滑に遂行されるよう管理するため、北海道大学病院医師臨床研修管理委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(協議事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 研修プログラムの管理に関すること。
- (2) 研修医の管理に関すること。
- (3) 研修医の研修状況の評価に関すること。
- (4) その他医師臨床研修の管理に関すること。

(組織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 病院長
 - (2) 臨床研修センターの医科卒後臨床研修部門長
 - (3) 臨床研修センターの医科卒後臨床研修部門副部門長
 - (4) 臨床研修センターに所属する教員
 - (5) 北海道大学病院規程第 5 条第 1 項に規定する診療科に所属する教員（国立大学法人北海道大学特任教員就業規則（平成 18 年海大達第 35 号）第 3 条第 2 号に該当する特任教員を含む。以下同じ。）及び第 6 条第 1 項に規定する中央診療施設等に所属する教員並びに北海道大学病院中央診療施設等内規第 2 条第 1 項に掲げる中央診療施設等に所属する教員のうちから病院長が指名する者
 - (6) 協力病院群を構成する関係施設の研修実施責任者
 - (7) 前号に規定する関係施設以外に所属する医師又は有識者 1 名
 - (8) 事務部長
 - (9) その他委員長が必要と認めた者
- 2 前項第 7 号及び第 9 号の委員は、病院長が指名する。
- 3 第 1 項第 5 号、第 7 号及び第 9 号の委員の任期は、1 年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 第 1 項第 5 号から第 7 号まで又は第 9 号の委員が、旅行、疾病、事故その他やむを得ない事由によって委員会に出席できないときは、代理者を出席させることができる。
- 5 前項の代理者は、第 1 項第 5 号から第 7 号まで又は第 9 号の区分ごとに選出する。

(委員長及び委員会の開催)

第4条 委員会に委員長を置き、病院長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。
- 4 委員長は、委員会を年1回以上開催するものとする。

(議事)

第5条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ議事を開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 3 委員が会議に出席できないときは、委任状の提出をもって、出席したものとみなす。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(臨時会)

第7条 第2条の協議事項のうち緊急な対応が必要となった場合、臨時の委員会（以下「臨時会」という。）を開くことができる。

- 2 臨時会は次に掲げる者をもって組織する。
 - (1) 第3条第1号から第4号まで及び第8号に規定する者
 - (2) その他委員長が必要と認めた者
- 3 委員長は、審議終了後速やかに、委員会に報告を行うものとする。

(専門委員会)

第8条 委員会に、専門的事項を審議するため、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

- 2 専門委員会の委員長及び委員は、委員長が指名する。
- 3 専門委員会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、総務課において処理する。

(雑則)

第10条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この内規は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成24年11月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この内規は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この内規は、平成 29 年 11 月 9 日から施行し、平成 29 年 10 月 1 日から適用する。

北海道大学病院医師臨床研修専門委員会要項

平成 23 年 3 月 31 日
制 定

(趣旨)

第 1 条 この要項は、北海道大学病院医師臨床研修管理委員会内規(平成 23 年 3 月 10 日制定)第 7 条第 3 項の規定に基づき、北海道大学病院医師臨床研修専門委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 研修プログラムの管理に関する専門的な事項
- (2) 研修医の管理に関する専門的な事項
- (3) 研修医の研修状況の評価に関する専門的な事項
- (4) 研修医の募集及び採用試験に関する専門的な事項
- (5) その他医師臨床研修に関する専門的な事項

(組織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 臨床研修センターの医科卒後臨床研修部門長
- (2) 臨床研修センターの医科卒後臨床研修部門副部門長
- (3) 臨床研修センターに所属する教員
- (4) 北海道大学病院医師臨床研修管理委員会内規第 3 条第 1 項第 5 号に規定する者
- (5) 医療安全管理部長が指名する者 1 名
- (6) その他委員長が必要と認めた者

2 前項第 6 号の委員は、臨床研修センター長が指名する。

3 第 1 項第 5 号及び第 6 号の委員の任期は、1 年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 第 1 項第 4 号又は第 6 号の委員が、旅行、疾病、事故その他やむを得ない事由によって委員会に出席できないときは、代理者を出席させることができる。

5 前項の代理者は、第 1 項第 4 号又は第 6 号の区分ごとに選出する。

(委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、臨床研修センターの医科卒後臨床研修部門長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。

(議事)

第 5 条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ議事を開くことができない。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、総務課において処理する。

(雑則)

第8条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この要項は、平成23年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成23年10月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成25年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成28年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成29年11月15日から実施し、平成29年10月1日から適用する。

北海道大学病院臨床研修センター内規

平成17年4月7日
制 定

(趣旨)

第1条 この内規は、北海道大学病院規程（平成15年海大達第48号）第19条の規定に基づき、北海道大学病院臨床研修センター（以下「センター」という。）の組織及び業務について定めるものとする。

(組織)

第2条 センターに、次に掲げる職員を置く。

(1) センター長

(2) その他必要な職員 若干名

2 センターに、医科臨床研修部門、歯科臨床研修部門及び専門研修部門（以下「各部門」という。）を置く。

3 センター長は、病院長の命を受け、前項の各部門の業務を総括する。

4 センター長は、病院長が指名する。

(業務)

第3条 医科臨床研修部門及び歯科臨床研修部門は、次に掲げる業務を行う。

(1) 研修医の募集に関する事。

(2) 研修医の受入れ及び研修コースの振り分けに関する事。

(3) 研修プログラムの立案に関する事。

(4) 研修の実施依頼に関する事。

(5) 研修の評価のとりまとめに関する事。

(6) 各診療科及び研修関連病院との連絡調整に関する事。

(7) その他臨床研修に係る業務に関する事。

2 前項に掲げる業務のうち、医科臨床研修部門においては、研修医（医科）に関する業務をつかさどる。

3 第1項に掲げる業務のうち、歯科臨床研修部門においては、研修医（歯科）に関する業務をつかさどる。

4 専門研修部門は、次に掲げる業務を行う。

(1) 専攻医の募集に関する事。

(2) 専攻医の受入れに関する事。

(3) 専門研修プログラムに関する事。

(4) 医師の生涯教育に関する事。

(5) その他専門研修に係る業務に関する事。

(医科臨床研修部門)

第4条 第2条第2項の医科臨床研修部門に部門長を置き、病院長が指名する医学研究院の教授をもって充てる。

- 2 前項の部門長は、センター長の命を受け、医科臨床研修部門の業務を統括する。
- 3 医科臨床研修部門に副部門長を置き、部門長が指名する。
- 4 前項の副部門長は、第1項の部門長を助ける。
- 5 医科臨床研修部門に部門長が必要と認めた職員を置くことができる。

(歯科臨床研修部門)

第5条 第2条第2項の歯科臨床研修部門に部門長を置き、病院長が指名する歯学研究院の教授をもって充てる。

- 2 前項の部門長は、センター長の命を受け、歯科臨床研修部門の業務を統括する。
- 3 歯科臨床研修部門に副部門長を置き、部門長が指名する。
- 4 前項の副部門長は、第1項の部門長を助ける。
- 5 歯科臨床研修部門に部門長が必要と認めた職員を置くことができる。

(専門研修部門)

第6条 第2条第2項の専門研修部門に部門長を置き、病院長が指名する医学研究院の教授をもって充てる。

- 2 前項の部門長は、センター長の命を受け、専門研修部門の業務を統括する。
- 3 専門研修部門に副部門長を置き、部門長が指名する。
- 4 前項の副部門長は、第1項の部門長を助ける。
- 5 専門研修部門に部門長が必要と認めた職員を置くことができる。

(雑則)

第7条 この内規に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

- 1 この内規は、平成17年4月7日から施行し、平成17年4月1日から適用する。
- 2 北海道大学病院卒後臨床研修センター内規（平成15年9月17日制定）は、廃止する。

附 則

この内規は、平成17年6月23日から施行し、平成17年6月2日から適用する。

附 則

この内規は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

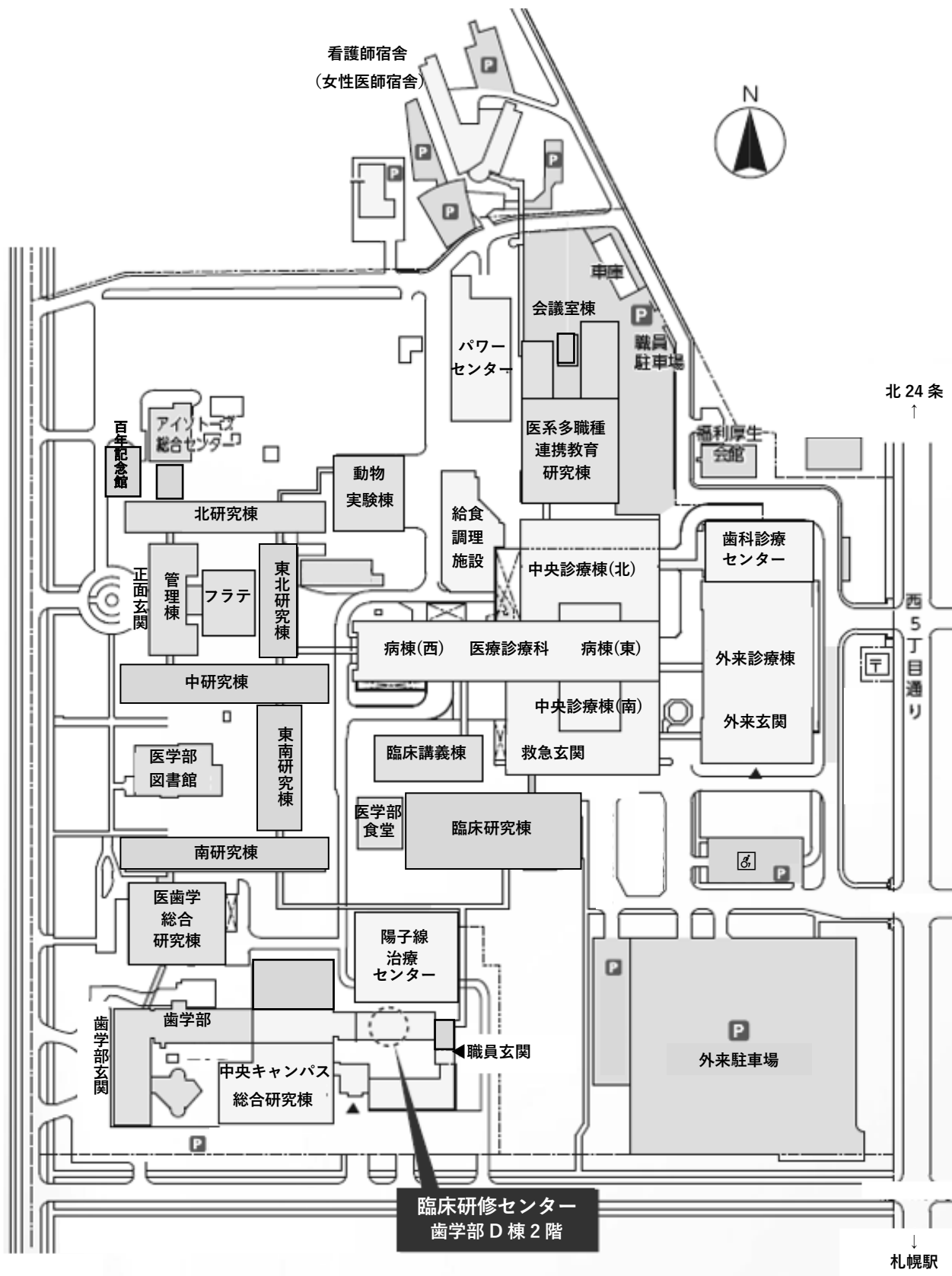
附 則

この内規は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この内規は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

北海道大学病院臨床研修センター配置図



(連絡先) 北海道大学病院臨床研修センター (事務室)
 住所 : 〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目
 TEL : 011-706-7045・7050 FAX : 011-706-7051
 メールアドレス : sotsugo@med.hokudai.ac.jp